

2021 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人
正 友 会

目 次

	頁
I. 法人本部	1
II. 特別養護老人ホーム満濃荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	8
(2) 通所介護事業	19
(3) 居宅介護支援事業	20
(4) その他の事業	22
1.満濃荘老人介護支援センター	2.緊急通報体制事業
3.家族介護者交流事業	4.給食サービス事業
5.生きがい活動支援通所事業	6.おもいやりネットワーク事業
III. 特別養護老人ホーム仲南荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	25
(2) 通所介護事業	39
(3) その他の事業	41
1.仲南荘老人介護支援センター	2.生きがい活動支援通所事業
3.おもいやりネットワーク事業	
IV. 特別養護老人ホームやすらぎ荘	
(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業	43
(2) 通所介護事業	54
(3) 居宅介護支援事業	55
(4) その他の事業	57
1.給食サービス事業	2.生きがい活動支援通所事業
3.ふれあいランド友の会	4.まんのう町琴南高齢者生活福祉センター
V. グループホームよりあい	
(1) 認知症対応型共同生活介護事業	60
(2) 通所介護事業	70
VI. デイサービスセンターおひいさん	
(1) 通所介護事業	72

I. 法人本部

I 法人本部

2021年度は第3期中期経営計画の3年目として、過去2年間の取り組み結果を踏まえ、具体的な目標を掲げて取り組みました。しかしコロナ禍が長引き、年間を通じて計画通りに進まないことが多く、前年度に継いで感染予防対策を優先しました。職員が共に考えアイデアを出し合い、ご利用者へのケアの向上に注力しました。

□私たちの職員

年間を通じて新卒・中途の採用活動を進め、新たな職員が加わりました。留学生2名が介護福祉士養成校を卒業し、4月より正式な職員として就業しました。

指導職である主任を上司が定期的に面談する仕組みがスタートしました。上司は話をじっくりと聞き、自己内省を促すことができるよう、年間報告会を通じて相互理解につなげました。

技能実習生の第一期生1名が期間満了により帰国しました。後に続く実習生も日本語の教育と介護技術の習得を重ねました。

□私たちのサービス

コロナ禍によりご家族の面会が難しい時期がありました。地域の感染者が減少した際は、対策をしつつ短時間での直接面会をお願いしました。ただ、ほとんどが対策強化期間となり、窓越し面会やオンライン面会に切り替えて、ご家族にご協力いただきました。

拠点ごとにノーリフティングケアの推進を継続しました。必要な機器や備品を購入し、指導者が中心となって継続研修を実施しました。おむつフィッターのつどいを開催し、法人内の有資格者がオンラインで集まって意見交換を行いました。紙おむつ製造会社のアドバイザーにも参加いただき、日頃の排泄ケアの課題にアドバイスいただきました。

□私たちの地域

夏のお祭りをはじめ、カフェやお茶会、ご利用者と接するボランティアの受入れ等、諸行事のほとんどが中止になり、地域に向けた取り組みは限定的なものとなりました。

昨年度に引き続きフードドライブの呼びかけを職員に行い、家庭にあるものを持ち寄りました。地域の社会福祉協議会にお届けし、生活に困難を抱えている方の役に立てていただきました。

地域の方々が施設に来ていただくことは難しい状況のため、こちらから外部講師として出向いたり、地域の清掃活動に参加し、活動しました。

□私たちの組織

コロナ禍が長期化する中、法人委員会や担当者会はオンライン会議に変更し、必要な協議を重ねました。制限のある状況だからこそ生まれる新たな発想もあり、あらためて組織的に物事を進めていくことの大切さを認識しました。

職員の外部研修機会もオンラインが主となり、時間的な節約につながりました。一方学習効果の有無は検証できておらず、今後の課題として残りました。

次年度からの中期経営計画を策定するにあたり、プロジェクトチームを立ち上げ、現場の声を聞きながら検討を進めました。合わせて10年後を目指す長期経営計画の検討も行い、将来のあるべき姿を描きました。

法人委員会

◇ 研修委員会

- ・前年度の課題であった研修振り返りシートは提出手順を再確認し、研修時に受講者へ再周知しました。
- ・感染予防対策のため、一部の研修企画は未実施となりました。実施した研修の受講結果は8割以上の参加者が満足と回答し、実務に活かせる内容との評価でした。

◇ サービス向上委員会

- ・コロナ禍に対応して施設アンケートの内容を一部変更して実施しました。また、ご意見にならない「つぶやき」を委員会メンバーでまとめ、職員に周知しました。
- ・普段ボランティアで来てくださっている方々に向けたアンケートを作成し、回答をいただきました。集計までは至らず、次年度への課題として残りました。
- ・口腔ケア、褥瘡予防ケアの勉強会を行い、外部の評価を受ける際のポイントを確認しました。

◇ リスクマネジメント委員会

- ・事故報告書の様式を変更し、記載する職員の負担軽減につなげました。
- ・ヒヤリハット報告に対する意識づけを行いましたが、事故の減少につなげるまでには至らず、報告件数が減っていることも今後の課題として残りました。

◇ 地域福祉委員会

- ・地域に向けた活動が制限される中、昨年度に引き続いてフードドライブを実施し、職員から提供のあった食材をまんのう町社会福祉協議会と琴平町社会福祉協議会へお届けしました。
- ・法人の地域活動を理解した上で職員が行事に参加できるよう、職員アンケートを実施しました。配布グッズや参加時の服装について意見を集約し、委員会として提案をしました。

◇ ポジショニング委員会

- ・状況確認シートや褥瘡者把握シートを用いて実施内容の変更点を話し合い、情報共有を継続しました。メンバー間で助言・アドバイスを行い、ご本人に合ったケアを考え取り組みました。
- ・計画していた基礎評価の研修を全施設で修了するには至りませんでしたが、OJTを実施し、知識・技術の向上を図りました。

◇ 広報委員会

- ・各施設の広報誌・HP窓の進捗確認を行い、予定通り発行・各月更新ができました。
- ・実施した地域活動の様子を広報誌へ掲載し、各施設で職員に回覧・周知しました。

新卒採用推進チーム

- ・オンライン説明会やタブレットを使用しての施設見学などツールの活用が進み、対応に少しずつ慣れてきました。採用活動が多様化していくことへの対応が今後の課題です。

中期経営計画策定会議

- ・責任者会議と部会で検討を繰り返し、次の3年間の計画を立案しました。多くの職員が計画策定に関わったことで、現実に即した内容に仕上がりました。

役員会等会議開催状況

日付	内容	出席者
5月14日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
5月20日	監事監査	監事2名、職員3名
5月26日	理事会	理事7名、監事2名、職員1名
6月11日	評議員選任解任委員会	評議員選任委員3名、理事1名、職員2名
6月22日	評議員会	書面決議
6月22日	理事会	書面決議
6月23日	苦情解決第三者委員会	書面報告
9月15日	理事会	書面決議
11月4日	理事会	理事7名、監事2名、職員1名
11月22日	公認会計士会計監査	岸上会計事務所3名、職員4名
11月24日	苦情解決第三者委員会	第三者委員3名、職員8名
2月24日	理事会	書面決議
3月23日	理事会	理事7名、監事1名、職員1名（オンライン方式）
3月29日	評議員会	書面決議

月日	研修内容	参加人員	テーマ(講師)など
4月1日	新入職員研修	2	知愛一如手帳を使用して法人が大切にしていることを話し合い、確認した。これからの目標について考える時間とした。
4月1,2,6日	人事考課制度研修	29	下半期の人事考課を行うにあたり、考課者が法人の人事制度を改めて確認した。また「働きやすい職場へ」をテーマに人間関係やハラスメントについて話し合う機会とした。 二次考課者研修では今年度より取り組みを始めた主任をフォローする「定期面談制度」について面談の仕組みや傾聴姿勢について再度確認する機会とした。
4月30日	新規採用者フォローアップ研修	2	新人職員が定期的に集まり、自身の成長が確認できる機会とした。1か月間の振り返りと次月への課題を見出すことにつなげた。社会人マナーの基礎や認知症のDVDを試聴し人と関わっていく上で大切なことを学ぶ時間とした。
5月31日		2	
6月30日		2	
11月24日	2年目職員研修	8	「介護職員としての接遇」をテーマに、ご利用者や職員に向けた不適切な言葉遣いを改善するためにどうすれば良いのかを話し合う機会とした。
10月6日	新規採用者フォローアップ研修	2	入社半年を振り返り、自分の成長を確認した。また人事考課制度の仕組みを学び自分の目標をあらためて考える機会とした。
12月8日	エルダー継続研修	3	OJTについて基本を学ぶ機会とした。また、エルダーとしてどのように関わってきたかを振り返り、困っていることや悩みなどを話し合い、後期の課題を考える機会とした。
12月4日	内定者研修	3	内定式終了後に、内定者が社会人として、また本採用になることを自覚する目的で行った。法人内の施設を見学して法人事業の理解を深める機会とした。
3月29日	新エルダー研修	3	新しくエルダーとなる職員が、エルダー制度について理解し、新人職員との接し方を意見交換した。
3月22日	新規採用者研修(合同)	3	新人職員が介護職員としての基本姿勢と法人組織の一員としての意識を持てるよう実施した。車椅子の操作や食事、排泄ケア、ノーリフティングケアについて学んだ。

定期面談制度

- ・2021年度から始まった主任フォローの制度。
- ・主任の役割や考え方、スキルのすり合わせ・主任の育成の場としてつくられた仕組みで人事考課制度の面接とは異なる。
- ・面談は直属の上長が行い、仕事の状況やそれぞれの課題、こだわり(「こだわるこころ」)の振り返り、施設・法人に対する意見などを共有する機会としている。
- ・年間報告会では、同じ立場の主任たちが話し合うことで、気づきを得たり、主任としての役割を再確認できる場としている。

対象者　　主任(16名)
 面談時期　年4回(4月・7月・10月・1月)実施
 年間報告会　年1回実施
 (主任対象16名参加 2/9・2/15・2/16、面談者対象9名参加 2/22)

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月23日	オイスカ四国支部感謝状贈呈式	綾川		事務局次長	植野哲男
5月27日	香川県経営協理事会・総会	オンライン		理事長	長谷川智一
5月28日～6月25日	人権問題研修講演会	〃		総務部長	合田香織
6月4日	共通職員意識調査・利用者満足度調査 結果報告説明会	〃		事務局長	丸畑 望
〃	〃	〃		事務局次長	植野哲男
6月18日	変化に強い組織の作り方セミナー	〃		本部長	中川芳栄
6月22日～6月23日	第2種衛生管理者免許試験受験準備講習会	高松		総務部長	合田香織
6月22日～7月2日	介護報酬改定後の経営戦略セミナー	オンライン		事務局長	丸畑 望
6月25日	まんのう町社会福祉協議会理事会	まんのう		理事長	長谷川智一
7月28日	香川県経営協理事会	高松		理事長	長谷川智一
8月1日～1月31日	社会福祉法人会計実務講座通信課程(初級Aコース)	オンライン		事務	高井美穂
8月7日	第2種衛生管理者香川地区出張特別試験	高松		総務部長	合田香織
8月23日	組織・人材マネジメントセミナー	オンライン		総務部長	合田香織
9月2日	全国社会福祉法人経営者大会	〃		理事長	長谷川智一
9月6日	香川県経営協研修委員会	〃		理事長	長谷川智一
9月14日	最新DXツール解説セミナー	〃		本部長	中川芳栄
〃	四国経営品質協議会幹事会	〃		事務局長	丸畑 望
9月17日	新たな福祉の哲学とは何か？セミナー	〃		本部長	中川芳栄
9月20日～10月3日、10月6日	両立支援コーディネーター基礎研修	〃		総務部長	合田香織
9月27日	医療・介護職のための「優しさを伝えるケア技術」研修	〃		総務部長	合田香織
10月4日	琴平町・まんのう町・正友会関係協議会	まんのう		本部長	中川芳栄
10月7日	香川健康づくり推進セミナー	オンライン		総務部長	合田香織
10月12日	～もっと時間のやりくり上手になるための～ タイムマネジメントセミナー	〃		本部長	中川芳栄
10月21日	四国経営品質協議会定例会	高松		総務部長	合田香織
10月28日	香川県経営協理事会	〃		理事長	長谷川智一
11月5日	衛生委員会活性化・産業医活用セミナー	宇多津		総務部長	合田香織
11月9日	ユマニチュードはなぜ認知症ケアに有効と言われるのかセミナー	オンライン		総務部長	合田香織
11月18日	地域生活課題の解決に向けたソーシャルワーク研修 講師養成研修会	〃		事務局長	丸畑 望
11月19日	事業・組織変革の一歩目を間違えないための2大要素とは？セミナー	〃		本部長	中川芳栄
11月29日	SDGs研修会	〃		理事長	長谷川智一
11月30日	四国経営品質協議会定例会	高松		事務局長	丸畑 望
12月13日～1月7日	人権問題研修講演会	オンライン		総務部長	合田香織
12月17日	全国社会福祉法人経営青年会「総務DX推進委員会主催セミナー」	〃		事務局長	丸畑 望
12月23日	改正育児・介護休業法、職場のハラスメント防止対策説明会	高松		総務部長	合田香織
1月19日	新入社員育成プログラム無料体験会	オンライン		本部長	中川芳栄
1月24日	全国社会福祉法人経営青年会「心理的安全性×青年会会員の実践セミナー」	〃		事務局長	丸畑 望
1月26日～27日	全国経営協 監事専門講座	〃		監事	久留嶋一之
〃	〃	〃		監事	青野 進
1月27日	四国経営品質協議会定例会	〃		理事長	長谷川智一
2月4日	公正採用選考人権啓発推進員研修会	〃		総務部長	合田香織
2月8日	経営セミナー	〃		本部長	中川芳栄
2月8日～22日	社会福祉法人会計実務者研修会	〃		事務局長	丸畑 望
2月14日	まんのう町共同募金委員会運営委員会	まんのう		理事長	長谷川智一
2月21日	香川県経営協理事会	高松		理事長	長谷川智一
〃	全国社会福祉法人経営青年会「福祉のシゴトのくわざ」と魅力を輝かせる組織づくり	オンライン		総務部長	合田香織
3月9日	まんのう町社会福祉協議会理事会	まんのう		理事長	長谷川智一
3月10日	香川県経営協総会 理事会・都道府県経営協セミナー	高松		理事長	長谷川智一
3月10日～31日	社会福祉法人経営者研修会 コロナの時代に求められる「人を育てる経営」とは	オンライン		事務局長	丸畑 望
3月18日	社会福祉法人の今後の役割等について考える講演会	〃		事務局長	丸畑 望

社会福祉法人正友会

職員採用説明会

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
7月10日	福祉のしごとサポートフェア(丸亀会場)	丸亀		総務部長	合田香織
8月24日	オンラインかがわーくフェア(夏の就職面接会)	高松		総務部長	合田香織
9月30日	障がい者就職ミニ面接会	丸亀		総務部長	合田香織
10月1日	福祉の職場説明会	オンライン		総務部長	合田香織
10月29日	福祉の職場説明会	高松		総務部長	合田香織
11月3日	かがわ正社員就職フェア	"		総務部長	合田香織
12月22日	四国学院大学 業界研究合同企業セミナー	善通寺		総務部長	合田香織
2月配信	合同WEBセミナー(動画配信)	オンライン		総務部長	合田香織
3月2日	リクナビLIVE合同説明会	高松		事務局長	丸畠 望
"	"	"		総務部長	合田香織
3月8日	かがわーくフェア(春の就職面接会 & 企業説明会)	オンライン		総務部長	合田香織
3月18日	福祉のしごとサポートフェア	"		総務部長	合田香織

まんまんカフェおよびさん 2021年度 実績

毎月第4土曜日 13:30~15:30 会場…よりあいデイサービスフロア (参加人数にはボランティアも含む)

開催日	担当	参加者数	参加職員	内容
12月11日(土)	満濃荘	8	4	折り紙を使った作品作り。認知症に関するお話し。

※毎月開催予定でしたが、感染症対策にて1回のみの実施となりました。

地域との交流

開催日	対象者	人数	参加職員	内容
7月中	まんのう町・琴平町の地域住民(新型コロナウイルス等による食料の生活支援)	全施設	全職員対象	フードドライブ 新型コロナウイルス等で、生活に困っている方への生活・食糧支援として
12月中	まんのう町・琴平町の地域住民(新型コロナウイルス等による食料の生活支援)	全施設	全職員対象	フードドライブ 新型コロナウイルス等で、生活に困っている方への生活・食糧支援として
2月8日(火)	仲南小学校3年生	34	1	「まんのう町社会福祉協議会共同による 高齢者疑似体験学習」 会場:仲南小学校体育館 高齢者疑似体験(正友会担当)、車椅子体験(まんのう社協担当)
3月18日(金)	仲南小学校3年生	34	7	小学校3年生と、デイサービス利用者とのWEBによる交流会 子供たちの発表や、ご利用者とゲーム等の交流を行う。

地域福祉に関する協議会

開催日	協議会名	参加団体	参加者数	内容
6月28日(月)	他法人との地域連携会議	社会福祉法人松寿会 社会福祉法人正友会	4 (内、正友会2)	両法人での活動報告。介護保険改正に伴う意見交換。人材育成に関する協議。その他意見交換。
7月2日(金)	法人間連携定例会議	香川県社会福祉協議会・まんのう町社会福祉協議会・琴平町社会福祉協議会・正友会	11 (内、正友会3)	各団体での地域活動報告。正友会でのフードドライブ実施案について。地域ニーズの確認。その他の意見交換会
8月17日(火)	おもいやりネットワーク事業・地域ネットワーク会議	香川県社会福祉協議会・まんのう町社会福祉協議会・琴平町社会福祉協議会・鵜足津福祉会・正友会	11 (内、正友会3)	地域区分で行っていくことについて確認。おもいやりネットワークの再確認。各団体での活動報告。
11月5日(金)	法人間連携定例会議	香川県社会福祉協議会・まんのう町社会福祉協議会・琴平町社会福祉協議会・鵜足津福祉会・正友会	12 (内、正友会4)	各団体での地域活動報告。正友会でのフードドライブ実施について。地域ニーズの確認。その他の意見交換会
11月26日(金)	他法人との地域連携会議	社会福祉法人松寿会 社会福祉法人正友会	4 (内、正友会2)	両法人での活動報告。通所事業交換研修会の打合せ。その他の意見交換。
1月13日(木)	琴南地区意見交換会	まんのう町社会福祉協議会・琴南地区福祉推進委員会・正友会	7 (内、正友会2)	琴南地区での福祉ニーズに関する意見交換。
1月26日(水)	他法人との地域連携会議(通所事業意見交換)	社会福祉法人松寿会 社会福祉法人正友会	8 (内、正友会3)	通所事業に関する活動報告と意見交換。
3月25日(金)	他法人との地域連携会議	社会福祉法人松寿会 社会福祉法人正友会	4 (内、正友会2)	両法人での活動報告。次年度に向けた両法人での取り組み報告。採用活動状況に関する意見交換。その他の意見交換。

II. 特別養護老人ホーム

満濃荘

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

感染症の影響で、地域との交流もご家族と会う機会も少なくなってしまいました。そうした中で、電話での話し方、郵送物での内容等、直接会わなくても、どうすれば上手に伝わるかを考えさせられました。

皆が集まつての行事は出来ませんでしたが、少人数や密にならないように等、ご利用者が少しでも喜んで頂けるように出来ることを考えていきました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ご利用者の日々の状態をケース記録や申し送りノートなどを活用し情報共有を行いました。定期的にご家族にお便りや写真を送り、少しでも安心していただけるようにしました。
- ノーリフティングケア実技の再研修を行うことはできましたが、現場で実践できるまでには至っていません。引き続きOJTを行いながら現場で実践できるよう取り組んでまいります。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ご利用者の日々の心身状態の把握に努め、多職種で共有・連携し、異変時にはご家族と主治医に報告して速やかに対応しました。
- ケアプランに基づき個別機能訓練を実施し、身体機能維持に努めました。

3. 食生活の充実

- 嚙下・咀嚼状態が低下した方に対して、ミキサーにかけなくとも軟らかく、そのままでも安全に食べることができる食材は形のあるまで提供しました。
- 再成型の試作や試食を協力会社と共に行いましたが、ご利用者への提供までには至りませんでした。

4. 適切な相談支援

- 感染症拡大防止の為、ご利用者の生活空間をご家族に見ていただく機会がなくなりましたが、その分施設の特徴を分かりやすく説明し、ご納得とご理解を得てご利用していただけるようにしました。口頭の説明だけでなく、視覚的に分かりやすいアイテムも準備できればよかったです。

5. 積極的な地域社会との交流

- 感染症対策を実施した上で、認知症カフェを1度だけですが開催できました。このような時期でもできる内容を考え、施設と地域、地域の皆様同士の繋がりを持つことができました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- 職員個人の目標を意識し続けることができる具体的な取り組みはできませんでした。半期ごとに振り返っている現状です。
- チーム内または多職種が協力し合えるよう日常の何気ない会話を大事にすることができます。

た。チームや部署間の連携にどのような影響をもたらしたかは評価できていません。

- ・外国人の職員やアルバイトが増え、言葉の難しさは今でもありますが、伝えて確認することを繰り返しています。

7. 委員会活動

◇研修委員会

- ・研修アンケート結果において回収率 80%以上の目標を達成することができました。今回の意見を次年度の企画に活かします。
- ・資料を基にした研修は部署ごとに時間調整を行い、実施することができましたが、全体の実技研修は参加率の悪い部署もありました。今後の課題とします。

◇リスクマネジメント委員会（事故防止・感染予防）

- ・危険予知を、実際の現場に落とし込んで考えられるような研修方法を考えて実施できました。
- ・事故報告書を改定後に一部修正しましたが、以前より円滑に使用できています。

◇感染予防対策委員会

- ・感染症研修ではマニュアルを確認しながら実施し、各自再確認することができました。
- ・新型コロナウイルスの情報を基に、施設内感染対策として出勤時の健康チェック（体温測定）、手洗い、消毒を徹底し「持ち込まない、拡げない」の意識を持ち続けました。

◇サービス向上委員会

- ・ボランティアの方に対してアンケートを実施することができました。気持ちよく活動ができるとのご意見をいただきました。
- ・コロナ禍でご意見が少ない中、ご利用者の言葉に耳を傾け、ご意見には上がらないつぶやきを全職員に周知することができました。ご利用者の何気ない言葉を聞き逃さないように受け止めることの大切さを実感しました。

◇広報委員会

- ・年3回、広報誌を発行することができました。コロナ禍でも施設内で季節感を味わっていただけるよう行事を考え、ユニットごとに実施した様子を広報誌に載せました。ホームページも同様にご利用者の楽しめている様子や研修などをアップし、満濃荘に興味を持っていただけるように委員会で意見交換を重ねました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・情報共有の流れを見直し、多職種間で確認や話し合いを行うようにしました。
- ・身体拘束を予防する為の福祉用具使用者は継続してチェックにて確認を行いました。

◇ポジショニング委員会(褥瘡予防委員会)

- ・褥瘡や褥瘡予備群を多職種で情報共有を行うことで褥瘡への意識を高めることができました。

また、日々のケアの中で褥瘡予防に努めることができました。

- ・状況確認シートを活用し、毎月見直しを行い対象ご利用者に合ったケアを行うことができました。

◇地域福祉委員会

- ・法人の広報グッズの作成を行う為の話し合いを行いました。
- ・地域活動においては、感染対策上、充分に活動をすることが出来ませんでした。

◇衛生委員会

- ・毎月、時季の体調管理などの情報を共有し、職員全体に注意喚起を行いました。体調を崩し、休みをとった職員に対しては、出勤再開後に無理をしないよう伝え、精神面のケアに努めました。職員の転倒事故が起こり、対応策や注意喚起を行い、再発しないよう対応を継続しています。

◇安全委員会

- ・現在、夜間吸引対象者はいませんが特定行為従事者が、夜間安全に吸引出来るように計画を立て、シュミレーターを活用しての実技研修を実施し、手技を確認しました。

◇給食委員会

- ・提供した食事の喫食状況やご利用者の感想をもとに、給食委託会社と意見交換し、調理法や味付け等の改善に取り組みました。

施設利用状況

入所		退所				月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	2	1	0	2	0	3	2.8	2377	
5月	3	2	1	1	0	4	7	2399	
6月	4	1	0	0	0	1	2.6	2369	
7月	3	3	1	0	1	5	2.9	2457	
8月	2	0	0	0	0	0	2.1	2465	
9月	0	0	0	0	0	0	1.3	2400	
10月	0	0	0	1	0	1	2.6	2453	
11月	2	1	0	0	1	2	1.1	2390	
12月	3	2	0	0	0	2	0.3	2474	
1月	1	0	0	1	0	1	1	2480	
2月	1	1	0	0	0	1	1.3	2240	
3月	2	1	1	1	0	3	4.3	2466	
計	23	12	3	6	2	23	/	28970	

介護度別	年度末				年間延べ利用者数
	男	女	計	比率	
要介護 1	0	2	2	2.5	816
要介護 2	2	2	4	5.1	950
要介護 3	12	20	32	40.5	12256
要介護 4	7	16	23	29.1	9154
要介護 5	3	15	18	22.8	5794
計	24	55	79	100.0	28970
		平均	3.6	/	

市町別	年度末	年間	
	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	65	17	17
丸亀市	2	1	1
善通寺市	1	0	0
三豊市	4	2	0
琴平町	6	3	3
高松市	0	0	2
姫路市	1	0	0
計	79	23	23

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
入院	45	93	30	49	38	31	38	17	2	24	29	93

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	2	14	7	1	24	87.7	104	75
女 性	0	3	22	28	2	55	89.8	103	75
計	0	5	36	35	3	79	89.2	/	/

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人 数	0	2	4	26	21	11	14	1

入所平均在所期間

男 性	2年9ヶ月
女 性	3年6ヶ月
全 体	3年2ヶ月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	5	7	12	9	6	5	5	8	8	7	8	10	90
整形外科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	3	3	5	4	5	4	4	4	4	3	4	5	48
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	4
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	13	15	22	18	16	14	14	17	17	16	19	21	202

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13	15	15	7	9	6	12	6	8	7	7	21	126
整形外科	1	0	0	0	0	0	2	2	3	5	2	5	20
耳鼻咽喉科	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	7
眼科	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	3	1	1	2	2	5	1	2	1	3	4	4	29
泌尿器科	3	2	4	1	1	3	4	1	2	1	1	2	25
脳神経外科	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	1	5
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20	20	20	10	14	14	21	13	18	17	15	34	216

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋肉運動	滑車運動	生活リハビリ	RO時体操	おしほり巻き等作業	関節可動域訓練	立位保持訓練
対象者数	23	4	23	4	2	8	3	1	19	0	0	9	9	0
種目	重錘運動	筋力抵抗運動	座位保持訓練	階段昇降	バランス運動	脳トレ	ポジショニング	ストレッチ	立位訓練	口腔体操	手すり把持歩行			
対象者数	9	11	4	1	6	2	4	8	7	6	2			

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	やわらか食	ミキサー食	経管栄養	合計
年度末	18	19	23	14	5	79

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
年度末	69	6	0	75

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月15日	仲多度南部危険物安全協会 理事会	まんのう町		施設長	栗田 猛
4月6・14・28 5月8・28日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	高松市		介護支援専門員	長尾めぐみ
4月30日	成年後見制度基礎研修	オンライン		介護支援専門員	長尾めぐみ
5月21日	香川県老人福祉施設協議会 総会	オンライン		施設長	栗田 猛
6月10日	ケアマネ連絡会内研修会	まんのう町		居宅支援課長	谷口雅宣
6月29日	安全対策担当者のためのリスクマネジメント研修	オンライン		統括課長	小嶺 輝
7月6日	四国経営品質協議会定例会	高松市		居宅支援課長	谷口雅宣
7月26日、8月13日 9月29日	中堅介護職員研修	オンライン		通所主任	加藤玲子
7月30日	対人援助技術専門研修会	高松市		介護職員	中川匡史
8月4日	介護技術特別研修会	高松市		介護職員	小縣幸子
8月5日	香川県災害福祉支援ネットワーク協議会	高松市		施設長	栗田 猛
9月8日	四国経営品質協議会定例会	オンライン		統括課長	小嶺 輝
9月14日	香川県老人福祉施設協議会 政策研究委員会	オンライン		施設長	栗田 猛
9月15日	排泄ケア時の感染管理	オンライン		介護職員	槙山大輔
9月29日	福祉サービス苦情対応研修会	オンライン		介護職員	高島美侑紀
10月8・9・13・23日	介護福祉士実習指導者講習会	丸亀市		通所主任	加藤玲子
10月20日	香川県災害派遣福祉チーム登録研修	オンライン		生活支援課長	真鍋貴司
10月20日	ノーリフティングケアマネジメントセミナー	オンライン		介護主任	西山梨絵
10月20・23・28・30日 11月5・6日	主任介護支援専門員研修	高松市		居宅支援課長	谷口雅宣
10月21日	四国経営品質協議会定例会	オンライン		介護課長	石川智恵美
10月22日	老人福祉施設協議会 看護研修会	オンライン		看護課長	中村広子
10月29日	老人福祉施設協議会 給食研修会	オンライン		管理栄養士	岡崎円香
10月29日	新型コロナウィルス感染症対応研修会	オンライン		看護課長	中村広子
11月9日	老人福祉施設協議会 認知症研修会	オンライン		介護職員	富士見悠吾
11月10日	医療・介護職のための「優しさを伝えるケア技術」	オンライン		介護課長	石川智恵美
11月19日	安全運転管理者等講習	まんのう町		施設長	栗田 猛
12月3日	成年後見制度についての研修会	まんのう町		介護支援専門員	片岡寿子
12月14日	香川県災害派遣福祉チーム活動訓練	丸亀市		施設長	栗田 猛
12月14日	香川県災害派遣福祉チーム活動訓練	丸亀市		生活支援課長	真鍋貴司
1月27日	四国経営品質協議会定例会	オンライン		施設長	栗田 猛
1月31日	香川県社会福祉法人青年経営会 リーダー研修会	オンライン		施設長	栗田 猛
2月4日	香川県老人福祉施設協議会 政策研究委員会	オンライン		施設長	栗田 猛
2月25日	事業継続計画策定研修会	オンライン		施設長	栗田 猛
3月24日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進事業研修会	オンライン		居宅支援課長	谷口雅宣
3月28日	香川県老人福祉施設協議会 総会	オンライン		施設長	栗田 猛

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講師
5月	認知症研修	85	各部署責任者
6月	緊急時対応研修	10	研修委員
7月	手洗い・食中毒研修	87	感染委員会
9月	嘔吐処理研修	50	主任
9月	身体拘束廃止研修	84	各部署責任者
10/24~28	AED心肺蘇生研修	60	研修委員
11月	リスクマネジメント研修	85	各部署責任者
12月	介護保険制度研修	58	主任
12/22	日中想定火災避難訓練	20	四国電気保安協会
1月	高齢者の虐待防止研修	85	各部署責任者
2月	リスクマネジメント研修	85	各部署責任者
2月	ターミナルケア研修	10	主任
3月30日	夜間想定火災避難訓練	20	四国電気保安協会

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
穴吹パティシエ福祉カレッジ	5月10日～5月31日	1	15
	5月17日～5月30日	2	4
	5月24日～5月28日	1	4
	6月1日～6月23日	3	15
	8月23日、27日、30日、31日	1	4
	9月2日～9月27日	1	15
	9月28日～10月19日	2	15
	9月29日～10月8日	1	8
	10月21日～11月1日	2	8
	11月4日～11月25日	2	15
	11月29日～12月20日	1	15
香川短期大学	1月31日～1月24日	1	15
	3月14日～3月31日	1	15

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	355
2	在宅(通所・居支・その他)	41
	計	396

②事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	100
2	転落	25
3	離脱	6
4	経管抜去	0
5	送迎中の事故	5
6	服薬	20
7	皮下出血	98
8	異食	1
9	表皮剥離	65
10	器物損壊	14
11	利用者物品管理	13
12	介助中の事故	7
13	利用者間トラブル	0
14	その他	42
	計	396

③発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	65
	10時～12時	73
昼	12時～14時	35
	14時～16時	47
夕	16時～18時	32
	18時～20時	33
夜間	20時～22時	15
	22時～24時	16
	0時～2時	12
早朝	2時～4時	13
	4時～6時	24
	6時～8時	31
	計	396

④障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	8
2	打撲	15
3	皮下出血	106
4	すり傷	7
5	裂傷	9
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	69
9	精神不安定	0
10	送迎関係	13
11	異常なし	115
12	私物破損・紛失	7
13	その他	47
	計	396

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	56
2	5月	68
3	6月	71
4	7月	63
5	8月	79
6	9月	61
7	10月	80
8	11月	66
9	12月	83
10	1月	71
11	2月	80
12	3月	77
	計	855

⑤発生月別

	月別	件数
1	4月	31
2	5月	41
3	6月	29
4	7月	38
5	8月	41
6	9月	32
7	10月	45
8	11月	32
9	12月	24
10	1月	29
11	2月	33
12	3月	21
	計	396

⑥保険者への報告

	内 容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	9
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	9

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	3	0	0	0	0	3
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	0	0	0	0	0
合 計	3	0	0	0	0	3

身体拘束の状況

今年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参 加 人 数		家 族 等	ボ ラン テ イ ア
			施 設	通 所		
4	2	花見会食	80	22	0	0
5	11	芋植え	6	0	0	0
5	26	春の鮎焼き	30	21	0	0
7	7	七夕飾り	40	20	0	0
7	12~18	ひまわり観賞	40	0	0	0
8	12	夏祭り	0	25	0	0
9	9	芋掘り	7	0	0	0
9	15	敬老会	0	21	0	0
10	11	運動会	0	27	0	0
10	21	秋のさんま焼き	30	27	0	0
11	8.9.11	紅葉外出	12	0	0	0
12	24	クリスマス会	80	27	0	0
12	28	もちつき	14	0	0	0
2	3	節分	60	25	0	0
3	3	ひな飾り	70	26	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活 动 名	日 時	1回の平均 参 加 人 数	ボ ラン テ イ ア名等	内 容
施設	散髪ボランティア	第2月曜日/隔月	5名	為広様 他1名	散髪
	美容らん	第3水曜日	20名	らんモバイルヘアーサロン	散髪、カラー、パーマ
	ハッピー散髪	第1水曜日	25名	美容室ふじむら	散髪、カラー、パーマ
	茶葉詰め	随時	2名	黒木様、大塚様	
通所	紙芝居	毎月第一月曜日	25名	あめんぼ	
	交通安全教室	年2回	25名	香川県警察	

地域との交流

※2021年度は新型コロナウイルス感染症のため地域活動が中止となりました。

カフェ・お茶会

※2021年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

短期入所生活介護

現在のコロナ禍において昨年度に引き続き、ご利用者に安全に施設生活をして頂く為に、健康管理はもちろんご家族、ケアマネとの情報共有を大切にしてきました。おかげで、一人も体調悪化になる方はいませんでした。また、多くのご利用者に利用希望を頂きましたが、施設の事情により今年度も受け入れ制限を行い、直前まで待って頂きました。皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、それでも多くの問い合わせを貰い施設への期待を感じさせられました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	1233	1384	1250	1278	1356	1347	1355	1284	1277	1331	1242	1411	15748
要支援(介護予防)	26	25	27	26	24	24	23	24	23	21	20	23	286
合計	1259	1409	1277	1304	1380	1371	1378	1308	1300	1352	1262	1434	16034
利用率	76.3	82.6	77.4	76.5	80.9	83.1	80.8	79.3	76.2	79.3	81.9	84.1	79.9

介護度別利用状況

介護度	年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	1	286	1.8%
要介護1	12	2304	14.4%
要介護2	21	5948	37.1%
要介護3	27	5026	31.3%
要介護4	8	1487	9.3%
要介護5	3	983	6.1%
合計	72	16034	100%

(2) 通所介護事業

満濃荘老人デイサービスセンター

新型コロナウイルス感染症が終息とならない状況で、ご利用者・ご家族に安心していただけるように実施している対策をお伝えし、体調不良時の協力をいただきながら事業を継続することが出来ました。感染対策中でも行える活動を検討し、状況をみながら対応を変更しました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ヒヤリハットや「みんなのつぶやき」をミーティング時に周知し、ご利用者への対応をその都度確認しました。毎日確認することで職員も意識しながらご利用者対応にあたることができました。ただ全てのご意見や要望に対応出来ているわけではありません。いろいろな方法を活用しながら、もっとご利用者の意向を集めていくことが課題です。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・プログラムの内容を見直し、様式の変更を行いました。ご利用者の身体状況を確認して、ご要望・ご意向を確認しながら機能訓練計画を作成しました。

通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	75	75	73	74	79	80	81	79	77	75	69	74	911
利用延人数	636	663	663	684	708	693	703	671	689	643	599	698	8020
利用率 (月～金曜)	74.8	77.5	76.2	81.4	87.7	84.1	83.2	82.1	82.6	82.9	80.2	83.8	81.4
利用率 (土・日曜)	88.8	87.5	81.3	81.7	71.7	86.3	89.5	80.6	74.4	60.5	73.8	75.0	79.2

介護度別利用状況

介護度	年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	4	189	2.5%
要支援2	10	844	10.5%
要介護1	22	2425	30.2%
要介護2	27	3105	38.7%
要介護3	6	801	10.0%
要介護4	5	607	7.5%
要介護5	0	49	0.6%
合計	74	8020	100%

(3) 居宅介護支援事業

1. 業務管理・改善への取り組み

- 既存の業務マニュアルの見直しを進めました。また業務上の課題に対応し、マニュアルの新規作成を行いました。業務手順やルールを確認し、確実なサービス提供に努めました。
- 感染対策委員会の中で、業務マニュアルをふまえ、感染症の流行状況を確認しながら対応策の話し合いを行いました。研修やシミュレーションには至りませんでした。

2. 関係機関との協力体制

- 普段のケアマネジメントやご利用者アンケート、地域の会への参加や講師・事業所の招聘を通じ、ご家族や関係機関・地域特性の把握や理解を進めました。また、介護保険以外のサービスの状況把握に努めました。

3. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- 感染症流行のため予定通り実施できなかったものの、事例検討や専門職研修を法人内の居宅介護支援事業所と合同で行いました。内容により地域から講師や事業所を招いて実施し、医療ニーズへの対応・複合的な課題解決のあり方について学びました。

居宅介護支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 ()内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	76 (7)	78 (7)	74 (7)	75 (6)	78 (6)	77 (6)	74 (6)	75 (5)	68 (5)	64 (5)	65 (4)	64 (4)	868 (68)
琴平町	4 (1)	4 (1)	4 (1)	4 (1)	4 (1)	5 (1)	5 (1)	5 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	59 (12)
丸亀市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	5 (0)	37 (0)
高松市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	12 (0)
善通寺市	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	10 (0)
三豊市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	6 (0)
計	83 (8)	85 (8)	81 (8)	82 (7)	85 (7)	86 (7)	87 (7)	87 (6)	81 (6)	78 (6)	79 (5)	78 (5)	992 (80)

要介護度別状況 (年度末)

介護度	作成者数
要支援1	1
要支援2	4
要介護1	26
要介護2	29
要介護3	16
要介護4	5
要介護5	2
計	83

支給申請の手続き代行及び認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	1	1	3	0	0	2	2	0	0	0	0	9
住宅改修支給申請	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	4
介護保険申請代行	4	5	2	4	6	7	2	4	4	3	4	2	47
介護保険認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)その他の事業

1. 老人介護支援センター事業

- ・新規の利用相談や行政や近隣のケアマネジャーからの相談等、高齢者に関する相談を受け付け、対応できる部署や機関に引き継いでいきました。

2. 緊急通報体制事業

- ・協力員となっている方の協力が得られなかつたケースがあり、行政に相談し、自宅訪問をしていただいたことがありました。琴平町の新規様式変更の提案を行い、まんのう町に揃えるような形で変更していただけました。救急要請に至るような重大な通報はありませんでした。

3. 家族介護者交流事業

- ・感染症拡大防止の為、実施できませんでした。

4. 給食サービス事業

- ・栄養面に配慮し、おいしく食べていただける食事が提供できるよう給食委託会社と共に取り組みました。ご利用者の様子に変化があった際には、行政や関係者（ケアマネジャー等）へ報告しました。

5. 生きがい活動支援通所事業

- ・新型コロナウイルス感染症流行により予定していた行事は行えませんでしたが、感染対策を行なながら室内で行える行事や作品作りに変更しながらサービスの継続を行いました。
- ・まんのう町の要望もあり、ご利用される方が見やすく、分かりやすいものになるようにパンフレットを見直しました。

6. おもいやりネットワーク事業

- ・近隣の他団体との情報共有の機会は持ちましたが、具体的な活動は、地域活動も行われなかったため出来ていません。

緊急通報装置 通報データ集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
緊急	救急車出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	協力員対応	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	5
	誤 報	1	0	1	0	3	0	1	0	0	4	1	0	11
相談	相 談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
	誤 報	0	2	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	6
テスト通報		1	2	1	1	3	1	2	17	10	47	4	1	90
電池切れ(停電含)		2	7	1	1	0	2	6	1	1	6	4	2	33
その他		0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
合 計		5	11	3	2	9	3	9	19	12	63	12	3	151

町別集計

	緊急通報	相談通報	その他	計
まんのう町	16	10	102	128
琴平町	0	0	23	23
合 計	16	10	125	151

在宅介護者のつどい実績

実施日	行 き 先	見学施設等	備 考	人 数

※新型コロナウイルス感染症感染対策のため中止となりました。

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	9	7	9	9	9	8	9	8	8	8	7	9	100
食 数	279	216	275	268	281	258	281	247	249	234	207	267	3062

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	6	0	0	6	6	6	6	6	6	6	6	6	60
利用延人員	37	0	0	31	36	37	34	35	38	37	39	44	368
1日平均利用者	6.1	0.0	0.0	5.1	6.0	6.1	5.6	5.8	6.3	6.1	6.5	7.3	6.1

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	桜観賞		20
5	中止	新型コロナウイルス感染症対策にて町より中止	0
6	中止	新型コロナウイルス感染症対策にて町より中止	0
7	外出(ひまわり観賞)		17
8	夏祭り(ゲーム)		18
9	作品作り(コスモス)		18
10	運動会		19
11	手作りおやつ		11
12	クリスマス会		19
1	初詣外出・作品作り		19
2	節分		17
3	作品作り(吊るし雛)		22

III. 特別養護老人ホーム

仲南莊

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

一昨年より続く感染症の影響も大きく、職員の感染者も発生しました。施設内でのクラスター感染への広がりはありませんでしたが、感染対策への意識を更に強く持つ機会となりました。そういう中で、会話や交流が希薄にならないように、ご利用者だけでなくご家族や地域との関係性作りや情報共有ができる取り組みを考え少しづつ進めました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・床走行リフトやスライドボードを使用して、ご利用者、職員双方に安全で安心な介助を行いました。マルチグローブやクッションを使用してポジショニングを実施し安楽な姿勢で過ごしていただけよう努めました。
- ・コロナ禍での対応で直接会っていただく面会はほとんどできませんでしたがタブレットを使用しての面会、また手紙や写真をお送りし施設での生活の様子をお伝えしました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・ご利用者の状態異常に早く気づき、主治医への報告や受診等の対応をし、重症化の予防に努めました。終末期のご利用者に対してはご家族と相談し施設でできる範囲の医療提供を行い、コロナ禍ではありますが感染予防対策を実施し面会をしていただきました。
- ・ご利用者の状態を確認しながら機能訓練を実施し、日常生活に活用できるよう支援をしました。

3. 食生活の充実

- ・噛む力や飲み込む力が低下したご利用者に配慮したやわらか食の工夫や食材の軟化を目指し、協力会社と共に調理方法の検討を継続して行いました。引き続き、見た目も良く、安全でおいしいと感じて頂ける食事の提供に向けて取り組みます。
- ・栄養ケアマネジメントにおいては、ご利用者の食事状況や身体状態の確認を定期的に行い、多職種で意見交換を行いながら進めました。また、全職員を対象に、嚥下調整食についての研修を実施しました。お一人お一人に合わせた食支援の方法について、職員間で意見交換が活発化しました。

4. 適切な相談支援

- ・新規にご利用される方については、重要事項説明書に基づいて丁寧に説明を行いました。またご本人、ご家族の意向を伺いケアプラン等への反映や他職種へ周知することで日常の個別ケアとして実施しました。相談員同士では申し送りを徹底し、ご本人やご家族へ対応しました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・感染症流行時期には感染症の対応について、ご家族やケアマネジャー等からの問い合わせに対し、ご利用者が安心してサービスをご利用でき、感染症が拡大しないように情報の交

換や共有を行いました。

- ・地域との交流については、帆山地区用水路清掃への参加や仲南小学校へ訪問しての高齢者疑似体験を実施するなど、感染症対策に留意し地域社会との交流を行いました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・人事考課では各自が目標を設定し、半年間実施して達成度などを確認しました。目標設定が適切にできているのか、何をどのようにするのかなど具体的に目標が設定されているか、また未達成であれば今後どうしていくかなどの指導や管理は十分できていないため課題と考えています。
- ・外国人技能実習生について、各々が介護技能実習評価試験に合格し、次の段階へステップアップできました。また日本語能力試験受験のためのオンライン講義も受講しており1名がN3に合格しました。夜勤業務を行うことも目標にしており、1名が夜勤業務を行えるようになりました。
- ・介護業務での日常の取り組みを見直し、起床介助や整容介助等をフォローできる勤務時間帯を追加して、一人ひとりの負担を軽減することができました。

7. 委員会活動

◇研修委員会

- ・計画をしていた研修は概ね実施できました。実施にあたっては各研修担当委員と研修内容や研修方法を確認し、委員会にて情報共有しました。
- ・研修アンケートにて、「現場で生かすことができた、業務に取り組む際の意識付けになった」などの意見が多くみられ、研修効果が得られたと考えています。

◇事故防止検討委員会

- ・毎月、各部署の会議にてご利用者のリスクについて話し合い、事故・ヒヤリハット報告の対応策の再確認や見直しを行いました。重大な事故やヒヤリハットについては朝のミーティングにて報告し情報共有しました。
- ・転倒、転落事故の発生が重なる時期があり、全職員に事故に遭ったご利用者に対する想いや対応策等を考える機会を設け情報共有が行えました。

◇苦情対応委員会

- ・ご利用者やご家族の声に耳を傾け、ご意見以外の声を拾い上げる活動をしました。また研修を行い、ご意見受付の考え方や対応について理解を深めました。
- ・ご意見の改善策や対応策が継続できているか、ご意見を受け付けてから3か月後に確認を行いました。

◇広報委員会

- ・年3回の広報誌発行を行いました。感染症が流行している中での施設の活動をご利用者やご家族、地域の方々へ発信しました。

- ・ホームページの窓へは、感染症の流行で行事が行えない中、施設で起こった様々な出来事や取り組みを掲載し、閲覧した方に施設を身近に感じていただけるよう情報を発信しました。

◇感染予防対策委員会

- ・コロナ感染、濃厚接触者の情報が身近なところで報告があり、感染対策委員会を随時開催し、職員間で対応策や情報を共有し、感染拡大の防止につなげました。
- ・感染予防対策として手指消毒と手洗い研修を全職員に実施することで、正しい手洗い方法を学び再確認できました。

◇ポジショニング委員会（褥瘡予防委員会）

- ・移乗時の床走行リフトやスライディングボードの使用やマルチグローブの使用も徐々に浸透し、ご利用者と職員の双方の負担を軽減することができました。
- ・ご利用者の状態を共有し、褥瘡の予防に力を入れました。また褥瘡が発症した際には多職種で連携し早期に治癒するよう取り組みました。

◇喀痰吸引等の安全委員会

- ・口腔内喀痰吸引対象ご利用者 1名にて特定行為従事者による喀痰吸引を実施し、年 2回の研修を通じ技術確認を行い、安全に喀痰吸引ができるよう確認しました。
- ・救命処置研修を全職員対象に行い、コロナ禍における心肺蘇生の注意事項を確認できました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・身体拘束、虐待防止等の研修を年 2 回行いました。研修では身体拘束の種類や虐待が行われることによるご利用者への影響等を学び、理解を深めました。
- ・スピーチロックについては、ご利用者に悪い影響を与えることの理解を深めることができました。介護現場でご利用者の転倒など危険がある場合に、ご利用者の行動を制限するような言葉遣いが聞かれるため課題と感じています。

◇衛生委員会

- ・年間計画に基づき毎月テーマを設け、施設職員の現状を確認し、産業医の助言を受けながら意見交換ができました。委員会で話し合われた職員の健康や働く環境についての情報を職員に提供しました。

◇給食委員会

- ・日々の食事で季節感や行事を楽しんでいただけるよう心がけて献立を検討しました。食事中のご利用者との関わりの中から気づいたことや嗜好調査結果を可能な限り献立に反映しました。
- ・協力会社の社内での衛生チェックが強化され、厨房内の整理整頓、職員の衛生意識が向上しました。

◇地域福祉委員会

- ・コロナ禍の影響のため地域行事が開催できず、地域の方々との交流機会も少ないものになりました。しかしながらフードドライブや小学校行事など少しづつではありますが、感染対応に気をつけながらできたこともあります。今後も感染対策をしっかりと行いながらできる活動を増やしていくことが課題です。

施設利用状況

入所		退所				月間空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入院	施設間移動				
		施設内	病院						
4月	2	0	0	1	0	1	1.1	1496	
5月	0	0	0	0	0	0	2	1550	
6月	0	1	1	0	0	2	5.5	1491	
7月	3	2	0	1	0	3	6.2	1527	
8月	2	0	1	0	0	1	4	1493	
9月	0	0	0	0	0	0	2	1470	
10月	1	0	0	0	0	0	0.5	1545	
11月	1	1	0	0	0	1	0	1499	
12月	0	0	0	0	0	0	0	1550	
1月	0	0	0	0	0	0	0	1550	
2月	0	0	0	0	0	0	0	1400	
3月	2	1	0	1	0	2	1.9	1540	
計	11	5	2	3	0	10		18111	

介護度別	年度末				年間延べ利用者数
	男	女	計	比率	
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	0	0	0	0.0	0
要介護 3	5	14	19	38.0	6692
要介護 4	4	15	19	38.0	6858
要介護 5	2	10	12	24.0	4561
計	11	39	50	100	18111
		平均	3.9		

市町別	年度末			年間
	市町名	利用者数	入所数	退所数
まんのう町	43	10	8	
琴平町	5	1	0	
三豊市	2	0	1	
東みよし町	0	0	1	
計	50	11	10	

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	13	31	74	76	6	0	2	0	0	0	0	0

年齢分布

年 齡	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	3	5	3	0	11	84.5	97	75
女 性	0	1	17	18	3	39	90.3	101	74
計	0	4	22	21	3	50	87.4		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人 数	1	0	1	9	14	9	10	6

入所平均在所期間

男 性	5年6か月
女 性	4年2か月
全 体	4年5か月

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2	2	4	2	1	2	2	2	2	2	2	2	25
整形外科	2	2	3	3	2	2	2	2	4	1	2	3	28
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
歯科	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	3	44
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
合計	11	11	14	12	10	10	11	11	13	9	10	11	133

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	13	12	16	10	7	8	11	17	10	13	10	7	134
整形外科	9	7	3	11	9	8	13	10	9	9	8	8	104
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	5
眼科	0	1	0	0	1	0	0	1	1	3	2	1	10
歯科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
外科	1	2	2	3	2	3	3	2	2	3	2	2	27
婦人科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
皮膚科	0	1	1	0	0	0	3	3	1	0	0	0	9
泌尿器科	4	5	6	6	6	6	7	6	8	6	5	5	70
脳神経外科	1	1	2	0	0	0	0	0	2	2	0	14	22
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	28	30	30	30	25	25	38	39	35	39	27	37	383

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	メドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	筋肉運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	ピニールたたみ等作業	園芸活動
対象者数	14	0	3	3	0	3	3	4	3	14	0	19	14	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	やわらか食	ミキサー食	経管栄養	合計
年度末	8	13	6	13	10	50

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
年度末	24	23	3	50

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
4月22日	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	まんのう町		統括部長	平田裕二
4月23日	オイスカ四国支部贈呈式	綾川町		施設長	篠原匡生
4月23日	経営品質向上活動勉強会フォローアップ研修	オンライン		施設長	篠原匡生
5月13日	喀痰吸引等研修	高松市		介護職員	藤原あすか
5月13日	喀痰吸引等研修	高松市		看護課長	松下葉子
5月20日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	オンライン		通所主任	前田一樹
5月27日	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	まんのう町		統括部長	平田裕二
6月29日	介護施設の安全対策担当者のためのリスクマネジメント研修	オンライン		通所課長	真鍋貴司
7月6日	四国経営品質協議会第2回定例会	高松市		統括課長	岡田力也
7月6日	四国経営品質協議会第2回定例会	高松市		生活相談員	小松智紀
7月16日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	オンライン		通所主任	前田一樹
7/17, 18	社会福祉士実習指導者講習会	高松市		統括課長	岡田力也
7月30日	対人援助技術専門研修会	高松市		介護職員	山崎浩二
8月4日	介護技術特別研修会	高松市		介護職員	大山泰明
8月4日	介護技術特別研修会	高松市		介護職員	田村愛
8月10日	リスクマネジメント研修会	高松市		看護職員	溝渕孝
9月1日	技能実習責任者講習	高松市		統括課長	岡田力也
9月8日	四国経営品質協議会第4回定例会	オンライン		介護課長	篠原則子
9月16日	安全運転管理者等講習	まんのう町		統括部長	平田裕二
9月17日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	オンライン		通所主任	前田一樹
9月17日	制度・政策マネジメント委員会主催セミナー	オンライン		施設長	篠原匡生
9月29日～10月12日	福祉サービス苦情対応研修会	オンライン		通所主任	前田一樹
10月21日	四国経営品質協議会第5回定例会	高松市		通所主任	前田一樹
10月29日～11月5日	社会福祉施設等における新型コロナウイルス感染症対応研修会	オンライン		看護課長	松下葉子
11月4日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門基礎)	坂出市		技能実習生	ベリア
11月4日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門基礎)	坂出市		技能実習生	イスミ
11月5日	香川県琴平高校講師	琴平町		統括部長	平田裕二
11月9日	認知症研修会	オンライン		介護職員	山下由里
11月10日	医療・介護職のための「優しさを伝える技術」	オンライン		介護課長	篠原則子
11月11日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門応用)	坂出市		技能実習生	ウインダ
11月17日	接遇力研修会	高松市		介護職員	山下執徳
11月24日	介護職種の技能実習指導員講習	丸亀市		介護職員	橘大輝
11月24日	介護職種の技能実習指導員講習	丸亀市		介護職員	大埜杏里
11月26日	認知症予防研修会	高松市		介護職員	奈良栞里

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
11月30日	四国経営品質協議会第1回定例会	オンライン		施設長	篠原匡生
12月2日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門基礎)	坂出市		技能実習生	ベリア
12月2日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門基礎)	坂出市		技能実習生	イスミ
12月9日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門応用)	坂出市		技能実習生	ウインダ
12月10日	年末年始の特別警戒・交通安全運動出発式	琴平町		統括課長	岡田力也
12月12日	元気まんまんがんばり隊実行委員会防災教室	まんのう町		介護職員	山下執徳
12月17日	総務・DX推進委員会主催セミナー(第2回)開催	オンライン		施設長	篠原匡生
1月13日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門基礎)	坂出市		技能実習生	ベリア
1月13日	外国人技能実習生介護技術向上集合研修(専門基礎)	坂出市		技能実習生	イスミ
1月13日	琴南地区での活動連携に向けた情報交換会	まんのう町		施設長	篠原匡生
1月17日	中国・四国ブロック災害支援セミナー	オンライン		施設長	篠原匡生
1月21日	次世代リーダー経営品質向上活動勉強会	オンライン		通所主任	前田一樹
1月24日	組織・人材マネジメント委員会主催セミナー	オンライン		施設長	篠原匡生
1月27日	四国経営品質協議会第6回定例会	高松市		統括部長	平田裕二
1月31日	リーダー研修会	オンライン		介護主任	山本丈
2月21日	制度・政策マネジメント委員会主催セミナー	オンライン		施設長	篠原匡生
3月3日	「福祉に関する研究発表会」及び「実習指導者会」	オンライン		施設長	篠原匡生
3月24日	仲多度南部在宅医療・介護連携推進事業研修会	オンライン		統括課長	岡田力也

施設内研修等（防災訓練を含む）

月 日	研修内容	参加人員	講 師
6月	事故防止研修	55	事故防止検討委員会
6月	喀痰吸引研修	8	喀痰吸引等の安全委員会
7月	手洗い研修	57	感染予防対策委員会
8月	身体拘束研修	48	身体拘束廃止委員会
10月	褥瘡予防研修	28	ポジショニング委員会
10月	苦情対応研修	47	苦情対応委員会
10月	嚥下食研修	52	栄養士
10月	AED・心肺蘇生研修	33	喀痰吸引等の安全委員会
11月	嘔吐物処理研修	50	感染予防対策委員会
11月5日	シェイクアウト	30	香川県地震防災行動訓練
12月	事故防止研修	47	事故防止検討委員会
12月	ノーリフティング研修	5	ポジショニング委員会
12月29日	夜間想定の防災訓練	10	防火管理者
1月	虐待防止研修	44	身体拘束廃止委員会
1月	喀痰吸引研修	9	喀痰吸引等の安全委員会
2月	個人情報研修	44	研修委員会
3月29日	日中想定の防災訓練	20	防火管理者

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学	8月2日～8月20日	1	15
香川短期大学	9月1日～9月27日	1	22
介護等体験事業	11月15日～11月19日	1	5

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	164
2	在宅(通所・居支・その他)	12
	計	176

②事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	24
2	転落	11
3	離脱	0
4	経管抜去	0
5	送迎中の事故	0
6	服薬	1
7	皮下出血	88
8	異食	5
9	表皮剥離	10
10	器物損壊	9
11	利用者物品管理	5
12	介助中の事故	8
13	利用者間トラブル	0
14	その他	15
	計	176

③発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	28
	10時～12時	27
昼	12時～14時	22
	14時～16時	20
夕	16時～18時	9
	18時～20時	17
夜間	20時～22時	14
	22時～24時	6
早朝	0時～2時	5
	2時～4時	5
朝	4時～6時	11
	6時～8時	12
	計	176

④障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	2
2	打撲	17
3	皮下出血	88
4	すり傷	1
5	裂傷	1
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	10
9	精神不安定	0
10	送迎関係	0
11	異常なし	33
12	私物破損・紛失	6
13	その他	18
	計	176

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	54
2	5月	59
3	6月	42
4	7月	35
5	8月	41
6	9月	32
7	10月	47
8	11月	28
9	12月	35
10	1月	33
11	2月	39
12	3月	33
	計	478

⑤発生月別

	月別	件数
1	4月	17
2	5月	11
3	6月	15
4	7月	9
5	8月	23
6	9月	14
7	10月	18
8	11月	16
9	12月	17
10	1月	11
11	2月	8
12	3月	17
	計	176

⑥保険者への報告

	内 容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	3
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	3

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	0	1	0	/	0	1
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0	/	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	/	0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0	/	0	0
⑤その他	1	1	0	/	0	2
合 計	1	2	0	/	0	3

身体拘束の状況

今年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行事名(内容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	2	お花見	50	28	0	0
5	28	春の野外食	40	19	0	0
6	22	デイ グラウンドゴルフ大会	0	23	0	0
6	30	あじさい観賞	3	0	0	0
7	7	七夕行事	31	20	0	0
7	13・14・20	ひまわり観賞	11	0	0	0
8	26	デイ 夏祭り	0	25	0	0
9	15	ミニ夏祭り	40	0	0	1
9	22	デイ 敬老お祝いの会	0	19	0	0
10	22	デイ 運動ゲーム大会	0	22	0	0
10	25	秋の野外食	40	25	0	0
12	24	クリスマス会	50	23	0	0
12	28	餅つき	30	20	0	4
1	11	鏡開き	30	22	0	1
1	12	デイ 初笑い会	0	14	0	0
2	3	節分	31	24	0	0
3	3	デイ ひな祭り	0	25	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	手作りおやつ	毎月1回	40	安西朱実様	おやつ作り
	生け花	毎週木曜日	20	安西朱実様	生け花
	散髪外出	毎週水曜日	2	近隣の理容室	散髪
	訪問散髪	月1回	3	小山節子様	散髪
	訪問散髪	月1回	3	らんモバイルヘアーサロン	散髪
通所	写真の展示	年3回		さわやかフォトクラブ	玄関ホールへの写真展示
	絵画の展示	年1回		齊藤様 堀様	玄関ホールへの絵画展示
	生け花	毎週木曜日	10	安西朱実様	生け花
	誕生日祝い	対象者の利用日	1	対象ご利用者	誕生日のお祝い

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
6	6	帆山地区用水路清掃	2	1	帆山地区水利組合	50
2	8	高齢者疑似体験学習	1	0	仲南小学校3年生	35
3	18	ご利用者との交流	0	25	仲南小学校3年生	35

カフェ・お茶会

感染症拡大防止のため実施しておりません。

短期入所生活介護

- ご利用者、ご家族の意向に寄り添い、丁寧な対応を心がけることでサービスを継続的にご利用いただけたよう対応しました。
- 感染症対策については、対策を十分行なったうえでご利用者、ご家族、ケアマネジャーへ施設の感染状況を説明し相談を行い、理解を得ながら事業を行いました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	427	460	453	423	360	365	400	464	469	490	423	459	5193
要支援(介護予防)	5	7	6	6	3	2	2	3	4	3	1	11	53
合計	432	467	459	429	363	367	402	467	473	493	424	470	5246
利用率	72	77.8	76.5	71.5	60.5	61.2	67	77.8	78.8	82.2	70.7	78.3	72.9

介護度別利用状況

介護度	年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
要支援1	2	5	0.1%
要支援2	2	48	0.9%
要介護1	16	631	12.0%
要介護2	27	1660	31.6%
要介護3	16	1921	36.6%
要介護4	10	459	8.8%
要介護5	4	522	10.0%
合計	77	5246	100%

(2) 通所介護事業

仲南荘老人デイサービスセンター

ご利用者やご家族の思いに寄り添い、日常の関わりを大切にして事業を実施しました。在宅生活が継続できるために私たちができることを考え、サービスの提供内容の見直しを定期的に行いました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・傾聴する姿勢を大切にしました。より良いサービスへ繋げるために毎日のミーティング等で課題について検討し、意見交換を行いました。
- ・ご利用者の状態に応じた福祉用具を選定し使用しました。また、ご利用者の姿勢を確認し、除圧やクッションを使用したポジショニングを実施しました。
- ・ご利用者の細かな状態変化について、日ごろより、職員間で話し合いを行いました。また、ご家族やケアマネジャーへ、迅速な報告を心がけ情報提供しました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・日常生活を送る上で、身体機能の維持、向上となるよう個別機能訓練を実施しました。定期的に見直しを行いご利用者やご家族の意向を確認しながら計画を作成し実施しました。
- ・研修を実施し、清潔な手洗い方法の確認ができました。サービス提供時には、継続して声かけを行い、手洗い・うがい・口腔ケアを実施することへの習慣化に繋げました。

通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用実人員	67	63	63	61	65	62	64	63	64	61	61	61	755
利用延人数	649	624	609	675	707	659	682	663	661	597	573	658	7757
利用率 (月～金曜)	83.5	76.5	74.1	79.5	84.1	80.5	83.8	81.7	79.0	73.8	76.7	79.6	79.4
利用率 (土・日曜)	81.7	94.7	100.0	111.1	112.6	106.7	102.7	103.3	72.5	66.0	70.6	68.1	90.8

(12月1日より、土・日曜日の定員を15名から20名に変更)

介護度別利用状況

介護度	年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	1	91	1.2%
要支援2	11	763	9.8%
要介護1	20	2440	31.5%
要介護2	27	2658	34.3%
要介護3	8	852	11.0%
要介護4	6	778	10.0%
要介護5	1	175	2.3%
合計	74	7757	100%

(4)その他の事業

1. 仲南荘老人介護支援センター事業

- ・入所申し込み時などの相談の際に、ご家族より困りごとを伺うことがあり介護保険制度の説明や居宅介護支援事業所の紹介を行いました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・初めてでも安心してご利用できるよう、月ごとに行事や介護予防教室などを企画し、ご利用者同士の交流や活動を支援しました。
- ・ご利用者からの小さな意見も大事に相談を受け、対応を検討し実施しました。保険者とも情報共有し連携を図りました。

3. おもいやりネットワーク事業

- ・法人の活動として、今期より香川県おもいやりネットワーク地域区分での会議が定期開催される事となり、仲南荘職員2名が参加しました。また、フードドライブ活動に施設で多くの食品を集めることができました。

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	3	0	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40
利用延人員	17	0	7	20	18	22	24	25	24	21	21	20	219
1日平均利用者	5.7	0.0	7.0	5.0	4.5	5.5	6.0	6.3	6.0	5.3	5.3	5.0	5.1

琴平町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
利用延人員	9	9	9	8	10	7	7	6	6	7	6	5	89
1日平均利用者	4.5	4.5	4.5	4.0	5.0	3.5	3.5	3.0	3.0	3.5	3.0	2.5	3.7

年間行事等実施状況

月	実施内容	備考(詳細)	参加人員
4	健康教室	体力測定	17
5	おやつ作り	プリン作り	4
6	栄養教室	食中毒予防について	11
7	おやつ作り	ゼリー作り	12
8	健康教室	熱中症予防について	14
9	レクリエーション活動	バランスゲーム	15
10	健康教室	リズム体操	15
11	買い物外出	スーパー「ハナコ」「マルヨシセンター」での買い物	16
12	感染予防教室	インフルエンザについて	14
1	初詣・おやつ作り	ぜんざい作り	9・16
2	介護保険教室	介護保険について	13
3	おやつ作り	おはぎ作り	12

IV. 特別養護老人ホーム

やすらぎ 莊

(1) 介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業

ご利用者が安心して生活していただけるよう感染症対策を継続して行いました。ご家族との面会方法も感染状況に合わせてご家族に協力いただきながら実施をいたしました。
やすらぎ荘の「窓」や広報誌で行事や地域との関わりについて情報発信を行いました。

介護老人福祉施設

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ご利用者の声や意思を確認しながら、その人らしい生活が送れるように、ケアを行いました。
- おむつフィッターによる指導で、おむつのつけ方やサイズの選定をして改善を行いました。
- ノーリフティングケアの技術習得と習慣化に努め、安心して毎日が送れるように支援しました。また、マルチグローブの使用を主として定期的に職員に確認を行いました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- バイタルサインの測定、年2回の検尿、年1回及び適宜血液検査を行い、異常の早期発見対応が行えました。
- インフルエンザの予防接種、新型コロナウイルスワクチンの3回接種を行いました。
- 感染予防に注意しながら、結核検診を実施しました。
- 個別機能訓練計画を作成し、無理のないリハビリを実施して機能維持に努めました。また3か月毎にモニタリングを行い、ご家族に報告、同意をいただきました。

3. 食生活の充実

- 昨年度から取り組んでいる嚥下調整食の提供を継続して行いました。食材を柔らかくするために加熱時間を増やしたり重曹で下処理をして、形はあっても歯茎でつぶせる固さのおかず作りを検討し、実施しました。
- 嚥下調整食の理解を深めるため、試食を交えた職員研修を行いました。

4. 適切な相談支援

- 施設を利用される前には施設見学を行っていただき、ケア内容や、サービス内容について具体的に説明を行い、スムーズな施設利用につなげました。
- ターミナル期には、納得を得ながら最期を迎えられるようご家族や施設職員、診療所の医師と話し合う機会をもちました。

5. 積極的な地域社会との交流

- 感染対策を行いながら地域周辺の清掃活動を3回行うことができました。
- 青色防犯パトロールは月2~3回実施することができました。
- 「お茶のまん会」などの地域の方との交流は、感染拡大のために行うことができませんでした。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・いつでも相談できる環境をつくり、悩み事や心配事があった時にすぐに相談できるようにしました。
- ・普段からのコミュニケーションを大切にし、施設内で話し合える雰囲気をつくるようにしました。
- ・職員会では「知愛一如」手帳や事業計画の目標などをテーマに職員一人ひとりが発言し、意見を共有することができました。

7. 委員会活動

◇研修委員会

- ・感染対策中で集合研修は行わず、資料を配布して行いました。配布後にアンケートを実施し理解度を確認しました。
- ・研修の年間計画を立て、各部署、各委員会と連携し、研修をすすめました。

◇リスクマネジメント委員会（事故・防災・防犯）

- ・年2回の事例研修を行い、事故・ヒヤリハットについて改めて学ぶことができました。
- ・毎月の介護会や通所会等で事故の振り返りを行い、再発防止に努めました。
- ・ヒヤリハットの啓発を行い職員が記入しやすいようにしましたが、件数があまり増えませんでした。

◇サービス向上委員会（業務改善・C S）

- ・施設、通所共にご家族アンケートを実施することができました。アンケートやご意見受付書からいただいたご要望について改善策を話し合い、実施することができました。
- ・マニュアルの更新はできませんでしたが、見直しや修正を行うことができました。

◇広報委員会

- ・1年間でホームページの「やすらぎ荘の窓」を10回更新し、やすらぎ荘の活動を紹介しました。
- ・広報誌は、1年間の総まとめ号として年度末に発行を行いました。

◇身体拘束廃止委員会（高齢者虐待）

- ・年2回の研修により、身体拘束・スピーチロック・虐待防止について学びました。
- ・身体拘束ゼロを継続することができました。

◇感染防止対策委員会

- ・6月に食中毒研修、1月は吐物処理の研修を実施しました。
- ・感染症の発生なく経過することができました。

◇ポジショニング委員会（褥瘡予防・拘縮予防・ノーリフト）

- ・多職種と情報を共有し、褥瘡の早期発見、対応を実施しました。また、拘縮の予防も継続的に行いました。
- ・マルチグローブや福祉用具の使用が習慣化できるように、職員に対して意識づけを行いました。
- ・ノーリフティング技術のフォローアップ研修を実施し、見直しを行いました。OJTを通して確認できる仕組みについて見直しを行いました。

◇地域福祉推進委員会

- ・感染症の影響で多くの地域活動は実施することができませんでした。啓発活動も進めることができませんでした。
- ・地域清掃や草刈りボランティアなどの美化活動は行うことができ、地域の方との交流ができました。

◇労働安全衛生委員会

- ・毎月テーマを持って話し合うことができました。テーマによっては啓発チラシを作成し職員へ周知することができました。
- ・交通安全講習会を梅雨時、冬季の2回実施しました。
- ・腰痛アンケート結果について話し合い対策を考えることができました。

◇安全委員会

- ・喀痰吸引に関してはモデル人形を使用し、特定行為業務従事者を対象に喀痰吸引のフォローアップ研修を行いました。
- ・モデル人形を使用し、全職員対象に救命処置研修を実施しました。

◇給食委員会

- ・定期的に各部署からの意見をまとめ、協力会社との話し合いを行いました。実施献立について、あがった意見をもとに改善点を検討しました。嚥下調整食の調整についても、細かく話し合いよりよい食事提供ができるようにしました。

施設利用状況

入所	退所	月間 空床率	延べ利用者数
4月	0	0	900
5月	0	0	930
6月	0	1	896
7月	1	0	926
8月	0	1	911
9月	3	2	878
10月	0	0	930
11月	0	0	873
12月	1	0	930
1月	0	0	930
2月	0	1	840
3月	1	0	924
計	6	5	10868

介護度別	年度末				年間 延べ利用者数
	男	女	計	比率	
要介護 1	0	0	0	0.0	0
要介護 2	0	0	0	0.0	0
要介護 3	1	8	9	30.0	3818
要介護 4	2	10	12	40.0	3641
要介護 5	1	8	9	30.0	3409
計	4	26	30	100	10868
	平均	4.0			

市町別	年度末	年間		
		利用者数	入所数	退所数
まんのう町	29	6	6	
三豊市	1	0	0	
計	30	6	6	

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	19	0	0	0	0	0	0	0	0	73	51	44

年齢分布

年齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男性	0	1	1	2	0	4	86.6	99	79
女性	0	0	6	16	4	26	93.0	106	83
計	0	1	7	18	4	30	92.4		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人数	0	0	4	8	10	4	4	0

入所平均在所期間

男性	5年1か月
女性	3年10か月
全体	4年

診療科別往診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	6	12	15	12	10	9	9	9	12	12	11	10	127
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	1	1	3	4	5	2	3	3	2	1	1	2	28
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	13	18	16	15	11	12	12	14	13	12	12	155

診療科別受診状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	1	1	1	2	0	5	2	1	1	3	4	0	21
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	1	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	7
泌尿器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	1	1	2	0	10	3	4	4	5	4	0	36

リハビリテーション実施状況

種目	ホットパック	マイクロ波	ハドマー	足マッサージ器	マッサージチェア	平行棒歩行訓練	杖・歩行器歩行訓練	肋木運動	滑車運動	生活リハビリ	入浴時運動	RO時体操	おしごり巻き等作業	園芸活動
対象者数	0	0	0	0	0	2	1	5	7	0	0	11	8	0

食事形態の状況

	普通食	きざみ食	やわらか食	ミキサー食	経管栄養	合計
年度末	3	14	5	8	0	30

栄養マネジメント実施者数

	低リスク	中リスク	高リスク	合計
年度末	19	9	2	30

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
6月10日	ケアプラン研修	まんのう町		介護支援専門員	香川ゆかり
6月10日	ケアプラン研修	まんのう町		介護支援専門員	渡辺悦子
6月10日	ケアプラン研修	まんのう町		介護支援専門員	中須加倫子
6月16日	防災重点農業用ため池保全管理説明会	まんのう町		統括課長	近藤晃敬
6月16日	医療的ケア教員講習会	高松市		看護職員	小笠原由美
6月29日	介護施設の安全対策担当者のためのリスクマネジメント研修	オンライン		施設長	盛優子
6月18、19、24日、 7月3、5、8、14、17日	介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	オンライン		介護支援専門員	中須加倫子
9月2日	全国社会福祉法人経営者大会	オンライン		施設長	盛優子
9月8日	四国経営品質協議会第4回定例会	オンライン		施設長	盛優子
10月22日	新型コロナウイルス感染症変異株対策	オンライン		看護課長	堀家和子
10月29日	社会福祉法人などにおける新型コロナウイルス感染症対応研修	オンライン		看護課長	堀家和子
11月10日	医療・介護職のための「優しさを伝えるケア技術」	オンライン		介護課長	村上由佳
11月29日	SDGs研修会	オンライン		施設長	盛優子
1月13日	琴南地区での活動連携に向けた情報交換会	まんのう町		施設長	盛優子
3月24日	仲多度南部在宅医療・介護連携事業研修会	オンライン		介護支援専門員	香川ゆかり

施設内研修等 (防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月10日	認知症研修	24	研修委員会
7月13日	食中毒研修	24	管理栄養士
8月19日	事故事例研修	28	リスクマネジメント委員会
9月30日	褥瘡予防研修	29	ポジショニング褥瘡委員会
9月10日	苦情対応研修	29	サービス向上委員会
9月30日	火災訓練	30	自衛消防隊
11月19～30日	心肺蘇生・AED研修	19	看護課長
10月30日	身体拘束廃止研修	29	身体拘束廃止委員会
1月12日	嘔吐処理研修	20	感染防止対策委員会
1月31日	虐待防止研修	25	身体拘束廃止委員会
3月8日	事故防止研修	27	リスクマネジメント委員会
3月15日	個人情報・プライバシー研修	29	研修委員会
3月24日	火災訓練	15	自衛消防隊

実習等受け入れ状況

※今年度の実習生の受け入れはありませんでした。

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	48
2	在宅(通所・居支・その他)	8
	計	56

②事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	12
2	転落	7
3	離脱	0
4	経管抜去	0
5	送迎中の事故	4
6	服薬	1
7	皮下出血	20
8	異食	0
9	表皮剥離	7
10	器物損壊	1
11	利用者物品管理	0
12	介助中の事故	1
13	利用者間トラブル	0
14	その他	3
	計	56

③発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	9
	10時～12時	11
昼	12時～14時	5
	14時～16時	8
夕	16時～18時	5
	18時～20時	3
夜間	20時～22時	3
	22時～24時	1
	0時～2時	2
早朝	2時～4時	1
	4時～6時	5
	6時～8時	3
	計	56

④障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	1
2	打撲	5
3	皮下出血	20
4	すり傷	0
5	裂傷	1
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	7
9	精神不安定	0
10	送迎関係	4
11	異常なし	17
12	私物破損・紛失	0
13	その他	1
	計	56

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	16
2	5月	18
3	6月	16
4	7月	12
5	8月	13
6	9月	14
7	10月	22
8	11月	12
9	12月	13
10	1月	13
11	2月	11
12	3月	14
	計	174

⑤発生月別

	月別	件数
1	4月	5
2	5月	2
3	6月	4
4	7月	3
5	8月	5
6	9月	8
7	10月	5
8	11月	5
9	12月	4
10	1月	5
11	2月	5
12	3月	5
	計	56

⑥保険者への報告

	内 容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	3
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	3

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	0	0	0	0	0	0
②個人の嗜好・選択に関する事項	0	0	0	0	0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0	0	0	0	0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0	0	0	0	0	0
⑤その他	0	1	0	0	0	1
合計	0	1	0	0	0	1

身体拘束の状況

今年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	1・2	花見散歩	0	57	0	0
4	7	花見会食(室内)	34	0	0	0
5	7	桜の葉の塩漬け	0	5	0	0
5	11	おやつ作り(とうふ団子)	0	19	0	0
5	25	春の野外食(室内)	34	20	0	0
6	23	じゃが芋収穫	0	14	0	0
7	9	お楽しみ七夕会	0	17	0	0
10	11	運動会	0	15	0	0
10	27	秋の野外食(室内)	34	12	0	0
11	13~17	文化祭作品出展	10	45	0	0
12	16	料理(酢の物、油いため)	0	15	0	0
12	24	クリスマス会	34	16	0	0
12	27	餅つき	0	14	0	0
1	25	新年もちつき	0	18	0	0
2	3	節分	34	15	0	0
2	14	おやつ作り(生チョコ)	0	15	0	0
3	3	ひな祭り	34	12	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	散髪ボランティア	第1金曜日	0		
	散髪ボランティア	第2木曜日	0		
	うきうき外出	第3水曜日	0		
	音楽療法	第2・4水曜日	0		
通所	誕生日祝い	誕生日当日か近い日	5		フェイスタオル
	カラオケ	週2回	10		
	作品つくり	随時	10		
	運動レク	随時	15		
	脳トレーニング	随時	15		
	畠作業と調理	随時	3		
	法話	第3木曜日	0		

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	6	地域清掃	4	2		0
5	23	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	5
9	26	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	5
10	4	地域清掃	8	1		0
11	14	檀那会草刈りボランティア	2	1	檀那会	25
12	26	花植えボランティア	0	0	親子ボランティアの会	5
3	24	地域清掃	5	3		0

カフェ・お茶会

※新型コロナウィルス感染症のため実施しておりません。

短期入所生活介護

・ケアマネジャーと連携を行いながら、ご希望に沿った利用につながるように受け入れを行いました。ご利用中の生活状況をお伝えし、情報共有を図りました。

延べ短期入所利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護	113	149	148	155	154	148	152	151	126	138	124	132	1690
要支援(介護予防)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	4	9
合計	113	149	148	155	154	148	152	151	127	138	128	136	1699
利用率	62.8	80.1	82.2	83.3	82.8	82.2	81.7	83.9	66.7	74.1	76.1	73.1	77.6

介護度別利用状況

介護度	年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	1	9	0.5%
要介護1	3	200	11.8%
要介護2	3	1094	64.4%
要介護3	4	364	21.4%
要介護4	0	32	1.9%
要介護5	0	0	0.0%
合計	11	1699	100%

(2) 通所介護事業

やすらぎ荘老人デイサービスセンター

コロナ禍であっても、感染拡大予防の基本（検温・マスクの着用・換気）を継続しつつ何ができるかを考え日々のレクリエーションを開催しました。ご利用者の意向が多かったグループ活動メンバーを中心に、野菜栽培や調理に多くの方が関わって下さいました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・健康状態観察やサービスに対する意向確認を大切にしました。ご家族の意向確認はコロナ対策で担当者会の参加が難しく、直接お伺いできませんでした。
- ・ご家族やケアマネジャーと送迎時等の対応の約束事を明確にしました。降雪や凍結時のお迎えについても、話し合いを行い、安全にサービス利用ができるようにしました。
- ・利用中の自然災害時等の避難場所確認も行いました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・朝の挨拶時にマルチグローブを使い、ご利用者に安楽な姿勢保持の意識づけを継続しました。
- ・足底を床について頂けるよう、ふみ台を新たに用意し声掛けにより定着しています。ご自身で持ち運び用意される方もいます。

通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	22	21	22	22	20	22	21	21	23	21	20	23	258
利用実人員	46	46	44	46	46	44	44	41	42	40	40	47	526
利用延人数	366	359	336	349	310	323	323	331	329	274	272	353	3925
利用率	83.2	85.5	76.4	79.3	77.5	73.4	76.9	78.8	71.5	65.2	68.0	76.7	76.1

介護度別利用状況

介護度	年度末登録人数	年間延べ利用者数	比率
要支援1	4	124	3.2%
要支援2	14	875	22.3%
要介護1	13	1193	30.3%
要介護2	12	1171	29.8%
要介護3	5	436	11.1%
要介護4	2	124	3.2%
要介護5	0	2	0.1%
合計	50	3925	100%

(3) 居宅介護支援事業

1. 業務管理・改善への取り組み

- ・『災害時利用者台帳』の作成に着手しました。今後、タイムリーな情報を台帳に取り入れ、更新していくことが課題です。

2. 関係機関との協力体制

- ・感染予防対策は事業所により違うため、それぞれの事業所にあわせ柔軟に対応し、ご利用者のサービス提供がスムーズに行えるよう支援しました。

3. 専門職としてスキルアップできる研修の充実

- ・ケアマネ連絡会や居宅介護支援担当者会に出席しました。オンラインでの会が多くなりましたが、他の介護支援専門員や違う職種と情報共有を密にすることで、スキルアップを図りました。

居宅支援事業実績

市町別居宅サービス計画実績 ()内要支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
まんのう町	36 (5)	36 (5)	37 (5)	37 (5)	39 (4)	40 (5)	41 (5)	41 (4)	42 (4)	44 (4)	43 (5)	45 (5)	481 (56)
琴平町	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
計	36 (5)	36 (5)	37 (5)	37 (5)	39 (4)	40 (5)	41 (5)	41 (4)	42 (4)	44 (4)	43 (5)	46 (5)	482 (56)

要介護度別状況 年度末

介護度	作成者数
要支援 1	0
要支援 2	5
要介護 1	15
要介護 2	20
要介護 3	6
要介護 4	4
要介護 5	1
計	51

支給申請の手続き代行及び、認定調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉用具支給申請	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3
住宅改修支給申請	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	4
介護保険申請代行	2	1	1	0	1	2	3	0	4	3	6	5	28
介護保険認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)その他の事業

1. 給食サービス事業

- ・ふれあいランドにて会食方式で昼食を提供しました。特にご利用者同士の交流、電気療法に重点を置きました。一人暮らしで不安を抱えている方が多く、生活全般に関する相談、アドバイスを行いました。

2. 生きがい活動支援通所事業

- ・ご利用者が心身状態を維持できるようバイタル測定、電気療法を実施し、健康維持について意識していただけるよう支援しました。デイサービス利用者との交流機会をもちました。また感染対策の中ではありますが、マスク着用、うがい手洗いを徹底し、ご要望に沿って月に1回買い物外出を実施しました。

3. ふれあいランド友の会

- ・一人暮らしで外出手段にお困りの方に、受診送迎を実施しました。ふれあいランドでは、ご利用者同士で交流を図り、会食を行いました。また生活全般に関する相談があれば、アドバイスを行い、不安の解消につなげました。

4. まんのう町琴南高齢者生活福祉センター

- ・入居者の高齢化により健康に不安を持つ方が大半です。朝夕の安否確認、緊急時のナースコールにも迅速に対応しました。また、ご家族、関係機関とも情報共有を密に行いました。近隣に商店がないため、月1回スーパーへの買い物支援を行いました。また定期的に防災訓練、設備点検を行い、安心安全な生活環境づくりを行いました。

生きがいデイサービス 利用実績

まんのう町

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
利用延人員	14	8	14	14	12	12	12	13	12	7	5	8	131
1日平均利用者	7.0	8.0	7.0	7.0	6.0	6.0	6.0	6.5	6.0	3.5	2.5	4.0	5.8

年間行事等実施状況

	実施内容	備考(詳細)	登録人数
年間	買物支援、電気療法、TV鑑賞、懇親	マルナカまんのう店・デイリーマート マルヨシセンター満濃店等での買物	6

給食サービス・安否確認実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	2	2	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	43
食 数	10	11	19	20	16	18	20	20	20	17	16	20	207

ふれあいランド友の会実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回 数	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	4	49
食 数	54	41	42	45	40	37	44	35	34	29	22	28	451

琴南高齢者生活福祉センター

月別入所世帯(毎月1日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所世帯	7	7	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5
人 数	8	7	7	6	6	5	5	5	5	5	5	5

入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退 所	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3

V. グループホーム

よりあい

(1) 認知症対応型共同生活介護事業

計画として感染症対策に留意しながら、地域社会への福祉活動を掲げましたが、感染流行により実施できていないのが現状でした。今後も、感染対策の中でも実施可能な活動はないか模索しながら、地域ニーズに応えていきます。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・年々高齢化により、身体的に行えない活動も出てきています。そこで、全工程をお願いするのではなく、調理であれば「皮をむく」「切る」など、部分的にその方が行える活動を実施しました。
- ・ご家族との関係においては、毎月の状態報告の手紙と写真を添えて郵送しました。年2回のご家族アンケートでも「毎月の状態が分かり、写真が送られるのを楽しみにしています」という声も聞かれました。
- ・まんのう町との連携においては、地域密着型サービスということもあり、制度や取り組みで不明な点は、まんのう町の担当者に随時確認しながら連携を取りました。

2. 健康と機能維持に向けた関わり

- ・毎日のバイタル測定や、毎月の体重測定など、健康管理に取り組みました。日常の変化や気づいた点は、協力医療機関の医師に相談し適切な健康管理が行えました。
- ・ノーリフティングケアに向けては、よりあい内ではスタンディングリフトを日常的にし、ご利用者も職員も安全で安心したケアが行えました。また、中途採用者に対しても、個別に研修を行い、技術習得に向けた取り組みも行いました。

3. 食生活の充実

- ・今年度は、栄養士が週1回、健康管理や調理指導も含めて配属されました。今まで職員が課題であった栄養価や、食事の工夫など、さまざまな知識や技術を習得できました。ご家族からも、栄養士が配置されたことで安心できる。との声もいただきました。
- ・外出行事等は、感染症対策にて困難ではありましたが、畑作業は、皆さん熱心にして下さり、外の環境に触れたり、野菜の成長を楽しむなど、職員と一緒に共有することができました。

4. 適切な相談支援

- ・入所相談では、「よりあい」の説明だけでなく、他の施設の特徴や、まんのう町の介護保険リーフレット使用して、分かりやすく説明しました。また、まだ、担当介護支援専門員がついていないご家族については、希望により居宅介護支援事業所に引き継ぎました。

5. 積極的な地域社会との交流

- ・年6回実施する運営推進会議については、感染症対策にて集合しての会議は、3月に1回しか行えませんでしたが、その都度、状態報告の書類をお送りしました。しかし、文書報告が多くなり、積極的にご意見やご要望を伺うことまではできませんでした。

- ・まんまんカフェについては、12月に1回実施することが出来ました。久しぶりに顔を合わせる方もおられ、カフェの大切さを、さらに実感することが出来ました。

6. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・職員とのコミュニケーションを大切に取り組みましたが、退職者が出てしました。声をかけて確認したり、主任や課長とも協議していましたが、一人ひとりの想いに応えることができませんでした。

7. 委員会活動

◇研修委員会

- ・研修計画に沿って研修を実施しました。専門的な内容については、各委員会のメンバーと協議し協力して実践することができました。
- ・感染対策については、感染対策委員会と共同で、独自に動画撮影にて研修資料を作成し、目と耳で分かりやすい研修に工夫しました。

◇事故防止検討委員会

- ・服薬管理の事故件数ゼロを目指としていましたが、4件の服薬管理に関する事故が発生しました。引き続き優先課題として取り組みます。
- ・毎月の事故状況を取りまとめてユニット会等にて確認し、今後のケアに活用できるよう取り組みました。その結果として、ヒヤリハットの意識づけが継続できています。

◇苦情対応委員会

- ・年1回の苦情対応に関する研修を実施した他に、それらに関わる権利擁護についても学びました。

◇業務改善委員会

- ・年2回ご家族アンケートでは、アンケート結果で「体重」「行事」に関するご要望を頂き、毎月送付している状態報告の書式に欄を設けお知らせしました。ご家族様からも「状態がよく分かって良かった」との声もいただきました。

◇広報委員会

- ・ホームページの「窓」を、毎月更新することとしていましたが、担当職員の離職等により、他の職員に引継ぎが十分出来ていなかったため10月頃より更新が遅れてしまいました。
- ・広報誌「我が家」については年2回、計画的に発行することができました。

◇身体拘束廃止委員会

- ・毎月のユニット会にて事故報告の状況を確認し、身体拘束や虐待につながるような不適切なケアがないかを確認しました。また、研修委員会のメンバーと協力して全体研修を行い、情報共有の大切さや、職員同士の協力や声かけが大切であることを再確認しました。

◇感染症予防対策委員会

- ・コロナ感染対策として、防護服着脱の動画を作成したり、ノロウイルス対策として嘔吐処理セットを新しく作成し、嘔吐物の処理の仕方を動画撮影し研修を行いました。マニュアルの見直しについては、十分行えていない為、次年度の課題として取り組みます。
- ・衛生管理の面では、職員が調理を行うため、食中毒対策として、食品や台所の衛生管理を徹底しました。

◇ポジショニング委員会

- ・福祉用具を活用したノーリフティングケアの取り組みについては、中途採用者も含めて研修を行い、日常のケアの中で活用できました。スタンディングリフトについては、全職員が使用しました。
- ・日々のケアの中での注意点については、毎月のユニット会の中で話し合い、介助の方法や使用する物品等の検討を行いました。自施設に不足している物品、例えば座高の低い椅子等、他施設より借用し、資源を有効に活用しました。

◇労働安全衛生委員会

- ・他施設の衣服に関する事故を受け、「靴はかかとがついている物」「装飾品はつけない」を徹底しました。
- ・年次有給休暇の取得についても、全職員が計画的に年休取得が行え、リフレッシュにもつながりました。
- ・毎月会議が行えておらず、今後は、定期的な会議を開催し、職員の労働安全衛生について更に留意していきます。

施設利用状況

入所		退所				月間 空床率	延べ利用者数		
		死 亡		長期入 院	施設間 移動				
		施設内	病院						
4月	0	0	0	0	0	0	540		
5月	0	0	0	0	0	0	558		
6月	0	0	0	0	0	0	540		
7月	0	0	0	0	0	0	558		
8月	0	0	0	0	0	0	558		
9月	0	0	0	0	0	0	540		
10月	0	0	0	0	0	0	558		
11月	0	0	0	0	0	0	540		
12月	0	0	0	0	0	0	558		
1月	0	0	0	0	0	0	558		
2月	0	0	0	0	0	0	504		
3月	0	0	0	0	0	0	558		
計	0	0	0	0	0	0	6570		

介護度別	年度末				年間延べ利用者数
	介 護 度	男	女	計	
要介護 1	0	1	1	5.5	365
要介護 2	0	8	8	44.4	2920
要介護 3	1	6	7	38.9	2555
要介護 4	0	1	1	5.6	365
要介護 5	0	1	1	5.6	365
計	1	17	18	100	6570
		平均	2.6		

市町別	年度末	年間	
		利用者数	入所数
まんのう町	18	0	0
計	18	0	0

外泊・入院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入院	0	0	10	0	0	26	0	13	0	0	0	0

年齢分布

年 齢	70歳未満	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	計	平均	最高齢	最若齢
男 性	0	1	0	0	0	1	78.0	79	79
女 性	0	0	10	6	1	17	88.0	102	84
計	0	1	10	6	1	18	87.4		

認知症高齢者の日常生活自立度

	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
人 数	0	0	0	2	9	5	2	0

入所平均在所期間

男 性	7年2か月
女 性	5年0か月
全 体	5年2か月

職員研修派遣状況

日付	研修名	県内	県外	役職	氏名
6月4日	社会福祉懇談会 共通意識調査・利用者満足度調査について	オンライン		施設長	植野 哲男
7月6日・7日	第2種 衛生管理者免許試験受験準備講習会	高松市		介護主任	大西 愛
10月4日	琴平町・まんのう町・正友会関係協議会	まんのう町		施設長	植野 哲男
11月10日	第31回 医療・介護職のための「優しさを伝えるケア技術」	オンライン		介護課長	山本永利子
3月3日	「福祉に関する研究発表会」及び「実習指導者会」	オンライン		施設長	植野 哲男

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
5月中	接遇マナー研修	24	研修委員会
6月中	コロナウイルス対策研修	24	感染防止対策委員会
7月中	危険予測研修	24	事故防止委員会
7月中	食中毒研修	24	感染防止委員会
7月29日	夜間想定防災訓練	8	施設長
8月中	身体拘束廃止研修	24	身体拘束廃止委員会
8月中	危機予測研修	24	事故防止委員会
8月16日	風水害マニュアル防災訓練	6	施設長
8月25日	風水害避難訓練	7	施設長
9月中	心肺蘇生・AED研修	24	施設長
9月中	職業倫理(個人情報・守秘義務)研修	24	施設長
9月中	ポジショニング研修	24	ポジショニング委員会
10月中	高齢者虐待防止研修	24	施設長
10月中	苦情対応研修	24	研修委員会
10月中	結核研修	24	感染防止対策委員会
11月中	インフルエンザ対策研修	24	感染防止対策委員会
11月5日	シェイクアウト地震行動訓練	12	施設長
12月中	ノロウイルス研修	24	感染防止対策委員会
3月中	身体拘束研修	24	身体拘束廃止委員会
3月18日	日中想定防災訓練	12	施設長

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
香川短期大学	9月1日～9月8日	2	6

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	132
2	在宅(通所・居支・その他)	4
	計	136

②事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	38
2	転落	6
3	離設	0
4	経管抜去	0
5	送迎中の事故	1
6	服薬	4
7	皮下出血	56
8	異食	11
9	表皮剥離	4
10	器物損壊	4
11	利用者物品管理	3
12	介助中の事故	4
13	利用者間トラブル	0
14	その他	5
	計	136

③発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	11
	10時～12時	38
昼	12時～14時	16
	14時～16時	19
夕	16時～18時	19
	18時～20時	12
夜間	20時～22時	3
	22時～24時	3
	0時～2時	3
	2時～4時	0
早朝	4時～6時	1
	6時～8時	11
	計	136

④障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	1
2	打撲	7
3	皮下出血	56
4	すり傷	3
5	裂傷	4
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	4
9	精神不安定	0
10	送迎関係	0
11	異常なし	47
12	私物破損・紛失	3
13	その他	19
	計	136

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	43
2	5月	38
3	6月	63
4	7月	53
5	8月	47
6	9月	54
7	10月	52
8	11月	27
9	12月	51
10	1月	45
11	2月	50
12	3月	51
	計	574

⑤発生月別

	月別	件数
1	4月	11
2	5月	13
3	6月	13
4	7月	18
5	8月	5
6	9月	9
7	10月	17
8	11月	9
9	12月	11
10	1月	16
11	2月	8
12	3月	6
	計	136

⑥保険者への報告

	内容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	1
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	1

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項	0		1		0	1
②個人の嗜好・選択に関する事項	0		0		0	0
③財産管理、遺産、遺言等	0		0		0	0
④制度、施策、法律に関する要望	0		0		0	0
⑤その他	0		0		0	0
合 計	0		1		0	1

身体拘束の状況

今年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も委員会活動等を通じ継続して取り組みます。

年間行事一覧

月	日	行 事 名 (内 容)	参加人数		家族等	ボランティア
			施設	通所		
4	1~4	庭の桜散歩	13	10	0	0
4	27	つつじドライブ	12	0	0	0
5~6	随时	夏野菜の植え付け	14	9	0	0
6	3、4	ミニ運動会	0	9	0	0
7	随时	夏野菜の手入れ・収穫	5	6	0	0
6	7、8	あじさいドライブ	0	10	0	0
7	2、7	七夕まつり	18	9	0	0
7	5、14、19、21	ひまわりドライブ	17	0	0	0
7	27	夏祭り	0	6	0	0
7	30	夏祭り	18	0	0	0
8	5	夏野菜の収穫祭	0	9	0	0
9	17、20	敬老会	18	9	0	0
10	19、21	さつまいも掘り	5	7	0	0
10	22	コスモスドライブ	0	6	0	0
10	26、28	ハロウィン祭り	0	9	0	0
11	26	ミニ運動会	18	0	0	0
11	12	交通安全教室	0	7	0	0
12	23、24	クリスマス会会食・お楽しみ会	18	10	0	0
12	28	お餅つき	11	6	0	0
1	11、12、13	鏡開き	18	4	0	0
2	2、3、4	節分	18	9	0	0
3	3、4、5	ひなまつり	18	9	0	0
3	30	花見ドライブ	0	2	0	0

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

	活動名	日 時	1回の平均 参加人数	ボランティア名等	内容
施設	おばあちゃんのごはん	毎月第3金曜日	8		ご利用者主体の食事作り
通所	生け花	年2回	7		
	誕生日会	誕生日月	9		
	手作り作品	毎月	9		
	手作りおやつ	毎月	9		

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
5	9	高篠地区用水路清掃	1	0	高篠地区の住民	12

運営推進会議

月	日		職員	家族	町・ボランティア・民生委員・本部	かりん	合計
5		第1回運営推進会議(書面報告)	-	-	感染対策にて会議は中止	-	-
7		第2回運営推進会議(書面報告)	-	-	"	-	-
9		第3回運営推進会議(書面報告)	-	-	"	-	-
11		第4回運営推進会議(書面報告)	-	-	"	-	-
1		第5回運営推進会議(書面報告)	-	-	"	-	-
3	25	第6回運営推進会議	-	-	町・地域代表・民生委員・家族代表	○	5

(2) 通所介護事業

デイサービスセンターよりあい

小規模事業所ならではの穏やかな環境を活かし、その方にあった畑作業や、家事作業と一緒にいました。感染対策期にて、家事作業で、調理のお手伝いを制限したこともありますが、屋外での畑作業・散歩・収穫等や作品作り、運動会やお祭りなど、3密を予防した中でも、季節感のある行事や交流できる工夫を行いました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・日頃の様子や、ご利用者からの不安などを聴き取った際は、ご家族や担当ケアマネジャーにお伝えし、情報共有を行いました。
- ・送迎時のご家族との会話を大切にし、連絡手帳の情報提供だけでなく、ご利用時の様子や、気づいたことがあれば細やかにお伝えしました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・日常生活の中での活動を生活リハビリとしてとらえて実践しました。畑作業では、過去の生活を活かした機能訓練となり、調理のお手伝いでは、昔を思い出すことによって認知面でのリハビリにつなげました。自宅ではほとんど話さない新規ご利用の方が、利用を通じた洗濯たたみやレクに参加することで楽しみを持ち、少しずつお話ししていただけるようになりました。
- ・環境面では姿勢保持に注意し、ソファーでの座位姿勢を確認し、クッションや座り方などの工夫に取り組みました。今後も状態に応じて改善していきます。

地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	22	21	22	22	22	22	21	22	23	21	20	22	260
利用実人員	11	10	10	9	9	9	9	10	10	9	9	7	112
利用延人数	117	113	105	113	128	120	118	118	119	105	95	103	1354
利用率	53.2	53.8	47.7	51.4	58.2	54.5	56.2	53.6	51.7	50.0	47.5	46.8	52.1

介護度別利用状況

介護度	年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	0	0	0%
要支援2	0	0	0%
要介護1	1	179	13.2%
要介護2	5	935	69.1%
要介護3	0	44	3.2%
要介護4	0	173	12.8%
要介護5	1	23	1.7%
合計	7	1354	100%

VI. デイサービスセンター

おひいさん

(1) 通所介護事業

デイサービスセンターおひいさん

昨年に引き続き、新型コロナ禍でのサービスの継続を念頭に、感染対策に職員はもとよりご利用者、ご家族にも協力していただきながら進めることができました。地域での感染拡大に対し、ご利用者の活動範囲や隣近所との交流機会も減っていることから、ますますデイサービスの重要性を認識しました。筋力低下予防として下肢筋力を中心にした機能訓練メニューの見直しに取り掛かりました。

1. 基本的なサービスの徹底と信頼関係づくり

- ・ご利用者ご家族の連絡先について、サービス担当者会の都度確認し、サービス利用中、緊急時における連絡の必要性、特に介護医療連携の場面での重要性について説明させていただきました。
- ・また、留守番電話やメール・SNS の活用など、広く活用されている連絡手段について必要性に応じて相互にスムーズに連絡が取れるように取り組みました。
- ・防災対策の準備と次年度の介護システムの導入を控え、既存資料の整理を進めました。

2. 健康支援機能向上訓練の充実

- ・心身機能の維持向上のために、ご利用者のやりたいと思える活動について取り組みました。特にコロナ禍における活動や交流機会の減少に対応するために、通所での活動で心身の元気を取り戻せる機会となるように取り組みました。活動の一部はホームページの窓でもご紹介させていただきました。
- ・医療介護連携については、連絡帳に受診時などの医療連携を想定とした記入を行いました。必要な方は、入浴時の患部の写真なども添付し、受診の判断や、受診時の医師への状況のお知らせに活用していただきました。また、受診時の医師からの指示は、デイサービスへもお知らせいただけるように毎回働きかけ実施出来ました。担当ケアマネジャーへの報告、連絡も円滑に行えました。

3. 地域社会との関係を活かしたサービスの提供

- ・地域活動としてのサロン「お茶会」、傾聴ボランティアは、新型コロナの感染防止のため年間を通じて中止しました。
- ・年2回、おひいさんの活動報告、地域課題の検討の場として開催してきた運営推進会議は今年度も新型コロナ蔓延のため会議形式での実施を取りやめ、文書配布と意見聴取で開催に替えさせていただきました。

4. 職員の育成と働きやすい職場環境づくり

- ・主任を中心に、個々の職員との意見交換に重点を置き、課題の確認や業務改善を進めチームワークが発揮できる環境を作りました。

地域密着型通所介護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼動日数	20	23	22	21	23	21	22	22	20	20	20	23	257
利用実人員	25	26	26	23	23	25	25	24	23	23	23	23	289
利用延人数	161	151	158	149	144	157	166	164	153	146	143	162	1854
利用率	80.5	65.7	71.8	71.0	62.6	74.8	75.5	74.5	76.5	73.0	71.5	70.4	72.3

介護度別利用状況

介護度	年度末 登録人数	年間延べ 利用者数	比率
要支援1	5	291	15.7%
要支援2	10	937	50.6%
要介護1	6	382	20.6%
要介護2	1	145	7.8%
要介護3	1	99	5.3%
要介護4	0	0	0.0%
要介護5	0	0	0.0%
合計	23	1854	100%

デイサービス年間行事等実績

月 日	行 事 内 容	備 考(詳 細)	参 加 人 員
4/15～5/14	春野菜・花の栽培	手入れ・収穫・花摘み・花生け・散歩・休憩	50
4/23～5/5	鯉のぼり作り	折り紙で、鯉のぼりの飾り作り	24
5/11,14,16	新緑野外お茶会	庭の新緑と花に囲まれて、お茶会(午前中のおやつ飲み物)	18
6/8～11/18	夏野菜・花の栽培	種蒔き・苗植え付け・支柱たて・誘引・収穫・花摘み・花生け・休憩	90
6/8,6/10	旬の味覚を味わう会	あんずジュース、梅干し作り	16
7月1日	おひいさん開所記念	行事食、おやつ	6
7/7	旬の味覚を味わう会	手作りおやつ:ジャム作り(ブルーベリー、ブラックベリー)	7
9/20～	敬老会	行事食、手作りカードプレゼント、お茶会	25
11/4、10、12、	秋の味覚を味わう会	さんま炭焼き(11/4、12野外食)(11/10室内実施)	30
11/15～12/20	干支の張り子作り	カプセルに和紙を張り来年の干支の置物作り	25
11月16日	交通安全教室		8
12/8～	冬春野菜・花の栽培	種蒔き・苗と球根植え付け	30
12/5～	クリスマス飾りつけ	クリスマスの飾り付け	35
12/22～24	クリスマス・忘年会	行事食:鍋、ケーキ、手作りカードプレゼント	24
1/4～10	絵馬づくり		25
1/11～13	鏡開き	手作りおやつ:ぜんざい	23
2/2～4	節分	豆まき、行事食:イワシ料理、巻き寿司	25
2/7～4	お花見行事	折り紙や、お花がみでの屋内飾り作り	25
3/2～3/4	ひな祭り	行事食・おやつ:おし寿司 ひなあられ 甘酒	27

レクリエーションメニュー(月間・週間・毎日)

内 容	実 施 日	備 考(詳 細)
体操・口腔体操・リズム体操	毎日	
創作活動	ご利用者の希望に応じて毎日	スケッチ・切り絵・塗り絵・折り紙・貼り絵 など
運動レクリエーション	〃	ゴムボール投げ、ボーリング など
脳トレーニング	〃	計算・間違い探し・ジグソーパズル・日記・ゲームなど
歌謡曲・落語・漫談・浪花節	〃	リクエストにより視聴
調理補助 昼食の下ごしらえ	ご利用者に応じて 隨時	収穫野菜のそうじ、いりこ袋つめ など
洗濯干し・たたみ	〃	
庭で植物栽培、散歩、花生け	3月～10月ご利用者に応じて 隨時	花・野菜の植付け、手入れ、収穫、花摘み、花生け、散歩、休憩(お茶)
お誕生日のお祝い	ご利用者のお誕生日前後の利用日	手作り誕生日カードのプレゼント

施設内研修等(防災訓練を含む)

月 日	研修内容	参加人員	講 師
4月15日	摂食・嚥下研修	5	看護職員
5月21日	感染症予防研修(食中毒)	5	看護職員
6月24日	防災訓練(水害想定)	6	管理者
7月12日	防災訓練(火災想定)	3	管理者
7月22日	認知症研修	4	管理者
8月26日	身体拘束、高齢者虐待	3	管理者
9月23日	事故防止研修	3	管理者
10月14日	感染症予防研修(インフルエンザ対応)	3	看護職員
11月5日	防災訓練 シエイクアウト(地震対応)	5	管理者
11月16日	交通安全教室	3	管理者
11月18日	感染症予防研修(新型コロナウイルス対応)	3	看護職員
1月20日	個人情報・プライバシー研修	2	管理者
2月17日	アセスメント・モニタリング研修	4	管理者

実習等受け入れ状況

実習者名(団体名)	期間	実人員	延日数
美作大学(社会福祉体験実習)	8月16日 ~ 8月20日	1	5
香川県立善通寺第一高等学校	12月17日	2	2

職員研修派遣状況

日 付	研 修 名	県 内	県 外	役 職	氏 名
11月17日	指定介護予防事業所研修	善通寺市		管理者	高田雅史
3月2日	在宅医療介護連携研修	善通寺市		通所主任	高木紫帆
3月8日	成年後見制度研修	オンライン		管理者	高田雅史

月間定例行事・クラブ活動等(ボランティアによるものを含む)

・新型コロナウィルス感染症のため中止となりました。

地域との交流

月	日	内 容	参加人数		交流者名	人数
			施設	通所		
2	24	児童デイサービスの子供達との交流 子供たちの散歩の道中、おひいさんの庭で休憩 利用者と挨拶、手を振って交流	/	5	NPO法人 子育てネットくすくす	6

カフェ・お茶会

・新型コロナウィルス感染症のため中止となりました。

事故報告統計データ(年間件数)

【1】事故報告

①事業別

	事業	件数
1	施設(特養・GH・短期)	
2	在宅(通所・居支・その他)	4
	計	4

②事故内容別

	事故の内容	件数
1	転倒	0
2	転落	0
3	離設	0
4	経管抜去	0
5	送迎中の事故	0
6	服薬	0
7	皮下出血	0
8	異食	0
9	表皮剥離	0
10	器物損壊	0
11	利用者物品管理	0
12	介助中の事故	3
13	利用者間トラブル	0
14	その他	1
	計	4

③発生時間帯別

	時間帯	件数
朝	8時～10時	1
	10時～12時	1
昼	12時～14時	1
	14時～16時	1
夕	16時～18時	0
	18時～20時	0
夜間	20時～22時	0
	22時～24時	0
	0時～2時	0
	2時～4時	0
早朝	4時～6時	0
	6時～8時	0
	計	4

④障害等

	障害分類名	件数
1	骨折	0
2	打撲	0
3	皮下出血	0
4	すり傷	0
5	裂傷	2
6	呼吸困難	0
7	嘔吐	0
8	表皮剥離	0
9	精神不安定	0
10	送迎関係	0
11	異常なし	2
12	私物破損・紛失	0
13	その他	0
	計	4

【2】ヒヤリハット報告

①発生月別

	月別	件数
1	4月	4
2	5月	4
3	6月	5
4	7月	5
5	8月	8
6	9月	8
7	10月	5
8	11月	5
9	12月	5
10	1月	5
11	2月	6
12	3月	6
	計	66

⑤発生月別

	月別	件数
1	4月	1
2	5月	0
3	6月	0
4	7月	1
5	8月	0
6	9月	0
7	10月	0
8	11月	0
9	12月	1
10	1月	0
11	2月	1
12	3月	0
	計	4

⑥保険者への報告

	内 容	件数
1	入院等継続的な治療が必要となった事故	0
2	家族の申出により、苦情に結びつく可能性のある事故	0
3	介護上の事故等、その他の事故	0
	計	0

ご意見受付数

	施設	短期入所	通所	居宅介護支援	その他	合計
①ケアの内容に関する事項		0		0		0
②個人の嗜好・選択に関する事項		0		0		0
③財産管理、遺産、遺言等		0		0		0
④制度、施策、法律に関する要望		0		0		0
⑤その他		0		0		0
合 計		0		0		0

身体拘束の状況

今年度も年間を通じて該当される方はいませんでした。

今後も継続して取り組みます。